Pioneer sound.vision.soul

DVD プレーヤー

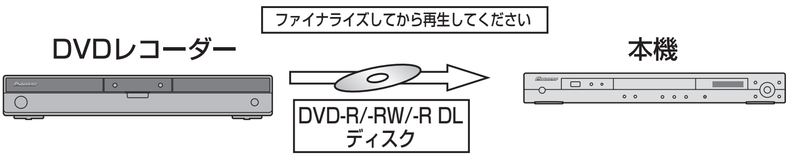
DV-600AV
DV-400V

DVD ビデオのリージョン番号

DVD プレーヤーとDVD ビデオディスクには発売地域ごとにリージョンNo.(地域番号)が設けられています。海外で購入したDVD ビデオディスクは、リージョンNo.の違いにより再生できない場合があります。本機のリージョンNo.は「2」です。

再生できるDVD ビデオディスクのリージョン表示の例：2 ALL 1 2 4 など

DVDレコーダーをお持ちのお客様へ



※DVDレコーダーで記録したDVD-R/-RW/-R DLディスクを本機で再生するときは、ファイナライズ (録画終了処理) してください。

インターネットによるお客様登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

RW COMPATIBLE

取扱説明書

準備する
各部のなまえ
再生する
いろいろな機能を使う
他機器との接続
設定をする
その他

安全上のご注意

●安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重い物を載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を載せてしまうことがあります。
- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
  → あおむけや横倒し、逆さまにする。
  → 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
  → じゅうたんやふとんの上に置く。
  → テーブルクロスなどをかける。

- 着脱式の電源コード (インレットタイプ) が付属している場合のご注意：
  付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

使用環境

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。
- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

- 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。
- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。(取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。)
- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
- 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは 2 人以上で行ってください。
- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

- ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
- レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。
- お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。
- 旅行などで長期間、ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示（プラス（＋）マイナス（—）の向き）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。
- 電池は加熱したり分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検

- 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。
- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

目次

準備する

再生できるディスクの種類

- 本機は NTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。
- DV-400V では、DVD オーディオ、および SACD は再生できません。

DVD	市販 DVD ビデオ	DVD オーディオ	DVD-R	DVD-RW	
	DVD VIDEO	DVD AUDIO	DVD R	DVD RW	
CD	ビデオ CD	SACD	CD	CD-R	CD-RW
	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	SUPER AUDIO CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc Recordable	COMPACT disc ReWritable
フジカラー CD	FUJICOLOR CD COMPATIBLE	FUJICOLOR CD COMPATIBLE	:このマークは、富士フイルム（株）の商標です		
コダックピクチャー CD					

DVD は DVD フォーマットロゴライセンシング (株) の商標です。

コピーコントロール CD について

当製品は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

DV-600AV で再生できないディスクの種類

DVD-ROM、DVD-RAM、CD-G、リージョンが「2(または２を含む)」「ALL」以外のDVDビデオなど

DV-400V で再生できないディスクの種類

DVD オーディオ、DVD-ROM、DVD-RAM、CD-G、SACD、リージョンが「2(または 2 を含む)」「ALL」以外の DVD ビデオなど

DVD レコーダーなどで記録したディスクについて

- ビデオモードまたは VR モードで記録されたファイナライズ済の DVD-R/-RW/-R DL（デュアル･レイヤーディスク）を再生できます。
- DVD+R、DVD+RW、DVD+R DL（ダブル・レイヤーディスク）を再生できます。

■本文中の表記について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号		意味
DVD ビデオ	DVDビデオ	市販の DVD ビデオ、またはビデオモードで記録されたファイナライズ済の DVD-R/-RW/-R DL および DVD+R/+RW/+R DL
DVD オーディオ	DVDオーディオ	市販の DVD オーディオ
CD (R-RW)	CD(R/RW)	市販の音楽 CD、または CDDA フォーマットで音楽が記録されている CD-R/-RW/-ROM
WMA MP3	WMA/MP3	CD-R/-RW/-ROM/USB機器に記録されている WMA またはMP3 ファイル

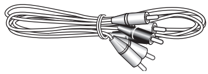
DVD VR	DVD VR	VR モードで記録された DVD-R/-RW/-R DL
ビデオCD	ビデオCD	ビデオ CD
SACD	SACD	市販の SACD（スーパーオーディオ CD）
WMV	WMV	CD-R/-RW/-ROM に記録されている WMV ファイル
MPEG-4 AAC	MPEG4-AAC	CD-R/-RW/-ROM/USB 機器に記録されている MPEG-4 AAC ファイル
JPEG	JPEG	CD-R/-RW/-ROM/USB 機器に記録されている JPEG ファイル
DivX®	DivX®	CD-R/-RW/-ROM に記録されている DivX ビデオファイル

付属品の確認

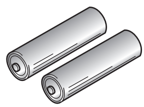
リモコン



オーディオ・ビデオコード



単3形乾電池×2



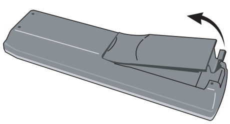
- 保証書
- 取扱説明書（本書）
- DVD プレーヤーかんたんガイド

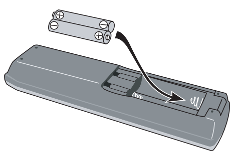
リモコンに電池を入れる

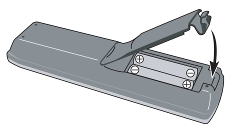
① 裏ブタのタブを押しながら矢印の方向へ開く。

② ケース内に表記されている極性 ⊕(プラス)/⊖(マイナス) を合わせて、乾電池を正しく入れる。

③ フタを矢印の方向に閉める。





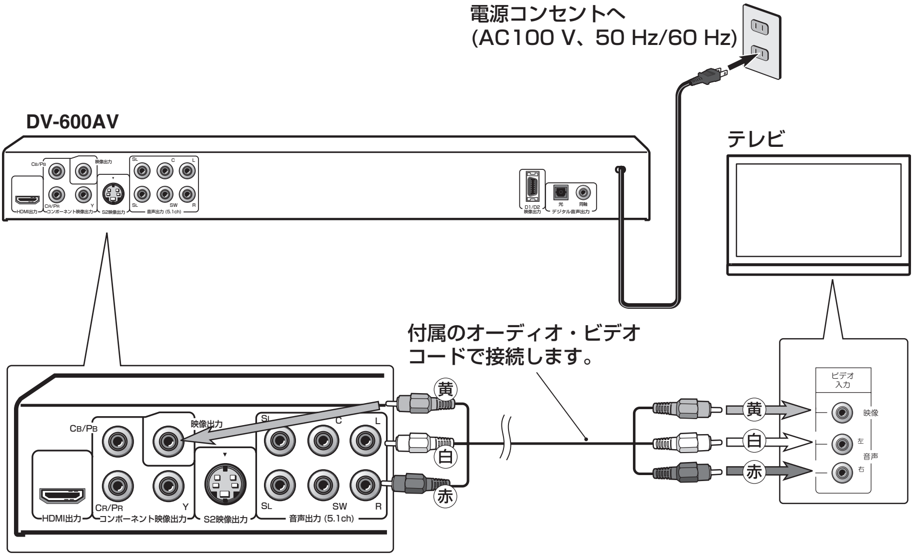


☑ 注意

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間(1 カ月以上) リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液もれを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。
- 警告：電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下する事があります。

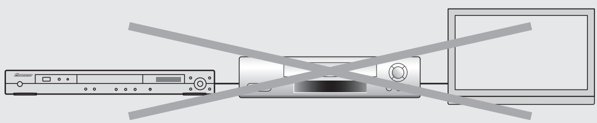
テレビに接続する

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。



☑ 注意

- **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
  本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、ビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。



Q&A

Q1: 5.1チャンネルサラウンドサウンドを楽しみたい！どんな接続をしたらいいですか？

→ **P.31**をご覧ください。

Q2: S映像端子、コンポーネント映像端子、D映像端子、モノラル音声入力端子に接続できますか？

→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.32-34**をご覧ください。

Q3: HDMI端子に接続できますか？

→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.35**をご覧ください。

設定画面の操作のしかた

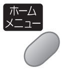
本機では、いろいろな場面でテレビに表示される設定画面を使用します。



1 リモコンの⬆⬇⬅➡ボタンで項目を移動する

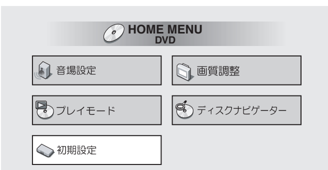
2 決定ボタンで項目を決定する

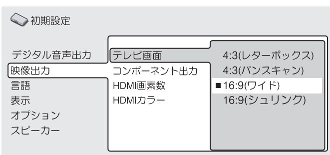
よく使うボタン

	ホームメニュー画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面を終了する (設定は保存されません)。
	項目を選択 / 変更する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。

テレビの種類を選ぶ

ワイドテレビ (16:9) をお使いの場合、テレビ画面のタイプの設定をしてください。
従来の画面タイプのテレビ (4:3) をお使いの場合は、この設定をせずにお使いいただけます。
詳しくは (**P.40**) をご覧ください。





DV-600AV

1 リモコンのホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる

2 ⬇ボタンで[初期設定]を選択して、決定ボタンを押す

3 ⬇ボタンで[映像出力]を選択する

4 ➡ボタンで[テレビ画面]を選択する

5 ➡/⬇ボタンで[16:9(ワイド)]または[16:9(シュリンク)]を選択して、決定ボタンを押す

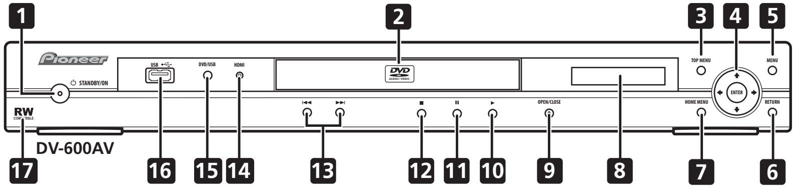
6 ホームメニューボタンを押して、設定画面を終了させる

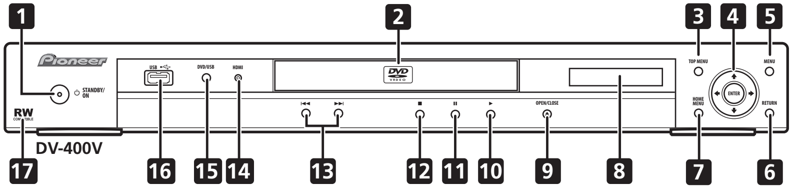
☑ メモ

- 本機の操作 (本体、またはリモコンで) を約 5 分間行わないとテレビ画面にスクリーンセーバーが表示されます。

各部のなまえ

本体前面





1 ⏻ STANDBY/ON(P.13, 14)
電源をオン / オフにします。

2 ディスクテーブル (P.13)

3 TOP MENU
DVDビデオ DVDオーディオ の最上層のメニュー画面を表示します。

4 ⬆⬇⬅➡
項目を選択 / 変更します。
ENTER
選択 / 変更した項目を実行します。

5 MENU(P.14, 23, 24)
DVDビデオ では、メニュー画面を表示します。
DVD VR ビデオCD WMA/MP3 MPEG4-AAC JPEG DivX® WMV では、ディスクナビゲーターを表示します (メニュー画面を表示するディスク / ファイルもあります)。

6 RETURN
1つ前の画面に戻ります。

7 HOME MENU(P.20, 23, 24)
ホームメニューを表示 / 終了します。また、各種操作 / 設定画面を途中で終了します。

8 表示窓 (P.11)/ リモコン受光部
約 7 m 以内の距離からここにリモコンを向けて操作します。
本機を蛍光灯の近くに設置するとリモコンの操作を受けにくくなることがあります。このようなときは、蛍光灯から離れた場所に設置してください。

9 ▲ OPEN/CLOSE(P.13)
ディスクテーブルを開閉します。電源がオフのときに押すと電源がオンになり、ディスクテーブルが開きます。

10 ▶(P.13)
再生を始めます。

11 ❚❚(P.13)
再生を一時停止します。再度押すと通常の再生に戻ります。

12 ■(P.13, 14)
再生を停止します。

13 ⏮/⏭(P.17)
チャプター / トラックを頭出しします。

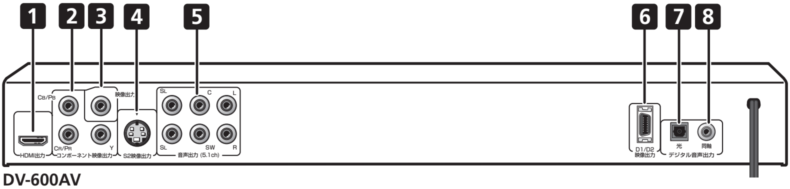
14 HDMI
HDMI 端子に接続した機器を認識しているときに点灯します。

15 DVD/USB(P.18)
入力 (DVD と USB) を切り換えます。

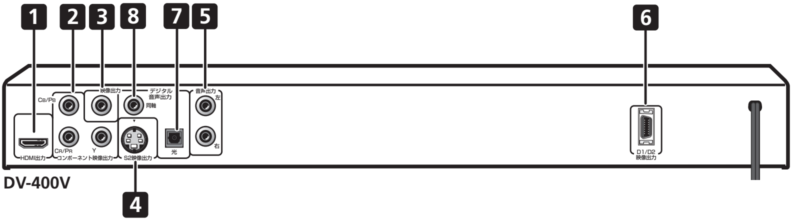
16 USB端子(Aタイプ)(P.18)
USB 機器を接続します。

17 RW COMPATIBLE − DVD VR が再生できる機能を示しています。

本体後面



DV-600AV



DV-400V

1 HDMI 出力端子 (**P.35**)

2 コンポーネント映像出力端子 (Y、CB/PB、CR/PR) (**P.34**)

3 映像出力端子 (**P.8, 31**)

4 S2 映像出力端子 (**P.34**)

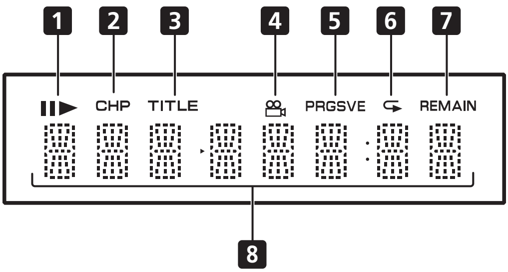
5 音声出力 (5.1ch) 端子 (DV-600AV)/ 音声出力端子 (DV-400V) (**P.8, 31, 32**)

6 D1/D2 映像出力端子 (**P.34**)

7 光デジタル音声出力端子 (**P.31, 33**)

8 同軸デジタル音声出力端子 (**P.33**)

表示窓



1 再生、または一時停止しているときに点灯します。

2 チャプター番号が表示されているときに点灯します。

3 タイトル番号が表示されているときに点灯します。

4 アングルを変更できる場面で点灯します。(DVDビデオ のみ) (**P.25**)

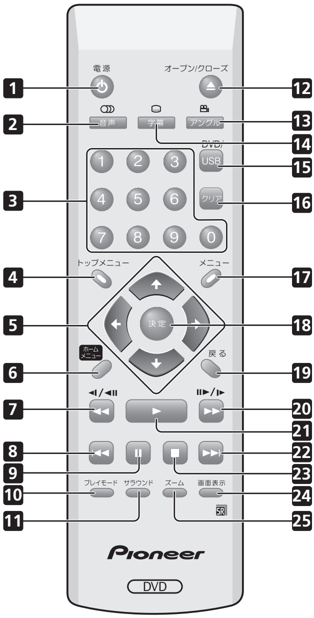
5 [コンポーネント出力]が[プログレッシブ]に設定されているときに点灯します。(**P.41**)

6 リピート再生中に点灯します。

7 再生中のタイトル/チャプター/トラックの残り時間が表示されているときに点灯します。

8 いろいろな情報を表示します。

リモコン



1 ⏻ **電源** (**P.13, 14**)
電源をオン / オフにします。

2 **音声**(**P.27**) ー 音声を切り換えます。

3 **数字(0〜9)ボタン**
タイトル / チャプター / トラック番号を指定して再生するとき、またはメニュー画面で項目を選択するときなどに使います。

4 **トップメニュー**
DVDビデオ DVDオーディオ の最上層のメニュー画面を表示します。

5 ⬆⬇⬅➡ ー 項目を選択/変更します。

6 **ホームメニュー**
ホームメニューを表示 / 終了します。また、各種操作 / 設定画面を途中で終了します。

7 ◀◀/◀I/◀II(**P.16**)
再生中に押すと早戻しします。一時停止中に押すと逆方向にコマ戻し再生します。押し続けると逆方向にスロー再生します。

8 I◀◀(**P.17**)
再生中のチャプター / トラックの先頭に戻ります。

9 II(**P.13**)
再生を一時停止します。再度押すと通常の再生に戻ります。

10 **プレイモード**(**P.19-22**)
プレイモード画面を表示します。ホームメニューからもプレイモード画面を表示できます。

11 **サラウンド**(**P.28-29**)
バーチャルサラウンド (立体音場) 機能をオン / オフにします。

12 ⏏**オープン/クローズ**(**P.13**)
ディスクテーブルを開閉します。

13 **アングル**(**P.25**)
DVDビデオ のアングルを切り換えます。

14 **字幕**(**P.27**) ー 字幕を切り換えます。

15 DVD/USB(**P.18**)
入力 (DVD と USB) を切り換えます。

16 **クリア**ープログラム再生で設定した内容を取り消します。

17 **メニュー** (**P.14, 23, 24**)
DVDビデオ では、メニュー画面を表示します。
DVD VR ビデオCD WMA/MP3 MPEG4-AAC JPEG DivX® WMV では、ディスクナビゲーターを表示します (メニュー画面を表示するディスク / ファイルもあります)。

18 **決定** ー 選択/変更した項目を実行します。

19 **戻る** ー 1 つ前の画面に戻ります。

20 ▶▶/II▶/I▶(**P.16**)
再生中に早送りします。一時停止中に押すとコマ送り再生します。押し続けるとスロー再生します。

21 ▶(**P.13**)
再生を始めます。電源がオフのときは電源がオンになり、再生を始めます。

22 ▶▶I(**P.17**)
次のチャプター / トラックの先頭に進みます。

23 ■(**P.13, 14**) ー 再生を停止します。

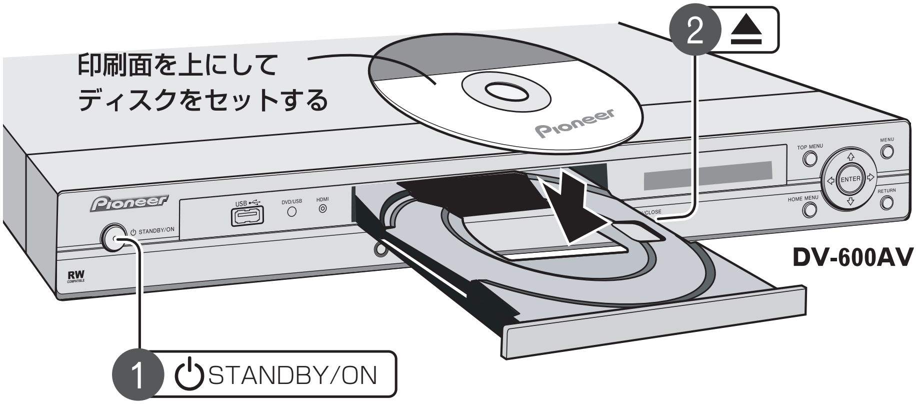
24 **画面表示**(**P.26**)
ディスクの情報を表示します。

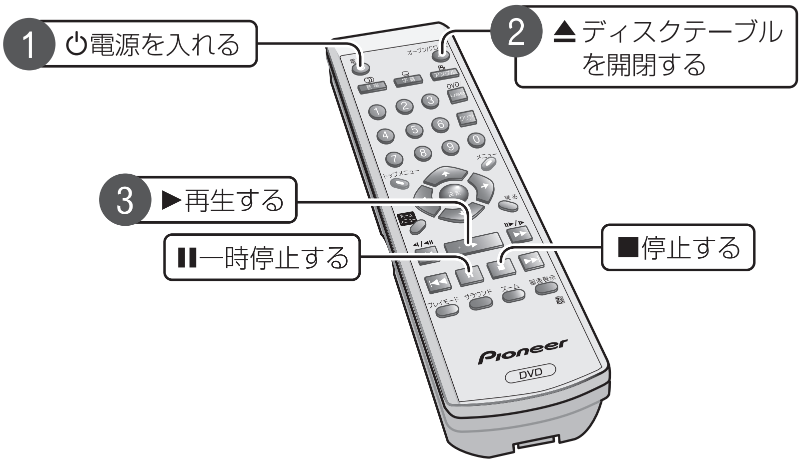
25 **ズーム**(**P.25**) ー 映像を拡大します。

再生する

ディスクを再生する

- あらかじめテレビの電源を入れ、テレビの入力を切り換えておいてください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- **DV-400V では、DVD オーディオ、および SACD は再生できません。**

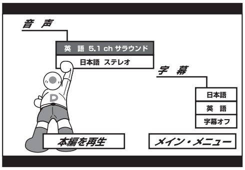




☑ **メモ**
- ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始めるDVDもあります。
- **「▶ 再生する」「II 一時停止する」「■ 停止する」**の操作については、本体でもリモコンと同じように操作することができます。

■メニュー画面が表示されたら

再生を始めると最初にメニュー画面を表示するディスクがあります（メニュー画面の内容や操作方法はディスクによって異なります）。ビデオCD のメニュー画面の操作方法については P.26 をご覧ください。



1 リモコンの ⬆⬇⬅➡ ボタンまたは数字ボタンで選択して、決定ボタンを押す。

☑ **メモ**

- 画面の上下に黒い帯がつくDVDがあります。本機の故障ではありません。

■止めたところから再生する（リジューム再生）

■ **ボタン**を押してディスクを停止するとその場所を記憶するので、次回は続きから再生を開始します（リジューム機能）。また、ディスクを取り出しても DVD5 枚、ビデオ CD1 枚分の停止した場所を記憶しています（ラストメモリー機能）。次回、そのディスクを入れると、取り出す前に停止した場所から再生を始めます。停止中に ■ **ボタン**をもう一回押すと、リジューム機能またはラストメモリー機能が解除され、次に再生するときはディスクの最初から開始します。

☑ **メモ**

- DVDビデオ CD(R/RW) ビデオCD DivX® WMV を停止すると、本体表示窓に [RESUME] と表示され、停止した場所を記憶します。DVDオーディオ SACD では、リジューム機能が働きません。
- ラストメモリー機能は DVDビデオ ビデオCD にのみ働きます。
- DVDビデオ でも、リジューム、またはラストメモリー機能が働かないことがあります。
- ラストメモリー機能では、別のディスクを記憶すると前のディスクのメモリーが消去されます。
- ラストメモリーをしたくない場合は、■ **ボタン**を押さずに ▲ **ボタン**でディスクを停止して、取り出してください。

■電源を切る

電源を切る前にディスクを取り出しましょう。

電 源



1 本体の⏻ STANDBY/ONボタンまたはリモコンの⏻電源ボタンを押す

☑ **メモ**

- 電源コードをコンセントから抜くときは、本体表示窓の [-OFF-] 表示が消えていることを確認してください。[-OFF-] 表示中に抜くと本機の設定が工場出荷時の状態に戻ることがあります。

Q&A

Q1: 映像が映らない！

→ オーディオ・ビデオコードが正しく接続されていますか？ (**P.8, 31-34**)

→ テレビの入力切換を合わせましたか？接続したビデオ入力に合わせてください。

→ HDMI出力端子から映像が出力されない場合は、HDMIケーブルが正しく接続されているか、「HDMIケーブルのつなぎかた」(**P.35**)を参照して確認してください。

Q2: リモコンで操作できない！

→ 本体との距離が離れすぎていませんか？約7 mの範囲内で操作することができます。

→ リモコンをテレビに向けて操作していませんか？本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

→ 本機を蛍光灯の近くに設置していませんか？蛍光灯から離れた場所に設置してください(**P.10**)。

Q3: ディスクテーブルを閉めても出てきてしまったり、再生ができない

→ ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていますか？

→ ディスクが汚れていませんか？ディスクをクリーニングしてください。

→ リージョンNo.が一致していますか？本機で再生できるリージョンNo.は**「2(または2を含む)」と「ALL」**です(**P.61, 64**)。

→ 本機の内部が結露している可能性があります。結露を除去してください(**P.67**)。

Q4: ビデオCD CD(R/RW) が再生できない。

→ パソコンで作成されたビデオCD CD(R/RW)は再生できないことがあります。

Q5: WMA/MP3 MPEG4-AAC が再生できない。

→ DRMコピープロテクト*のかかったWMA/MPEG-4 AACファイルは再生できません。

→ 記録したディスクがISO9660フォーマットに準拠していない。

→ サンプリング周波数が32 kHz、44.1 kHz、または48 kHzで記録されていないWMAファイルを再生している。

→ 可変ビットレート(VBR)またはロスレスエンコーディングのWMA/MP3/MPEG-4 AACファイルを再生している。

Q6: JPEG が再生できない。

→ 記録したディスクがISO9660フォーマットに準拠していない。

→ 総ピクセル数が3072X2048ピクセル以下のベースラインJPEGファイルではない。

→ プログレッシブJPEGファイルは再生できません。

Q7: DivX® WMV が再生できない。

→ DviX®ビデオ 、WMVファイルの再生以外には対応していません。お手持ちのメディアのエンコード方式等をご確認ください。

→ 拡張子「.avi」、または「.divx」が付いているファイルのみ再生できます。ただし、「.avi」が付いていてもDivXビデオファイルでないことがありますのでご注意ください。

→ 本機はWndows Media® Player 9 SeriesでエンコードされたWMV9ファイルにのみ対応しています。拡張子「.wmv」が付いているファイルのみ再生できます。

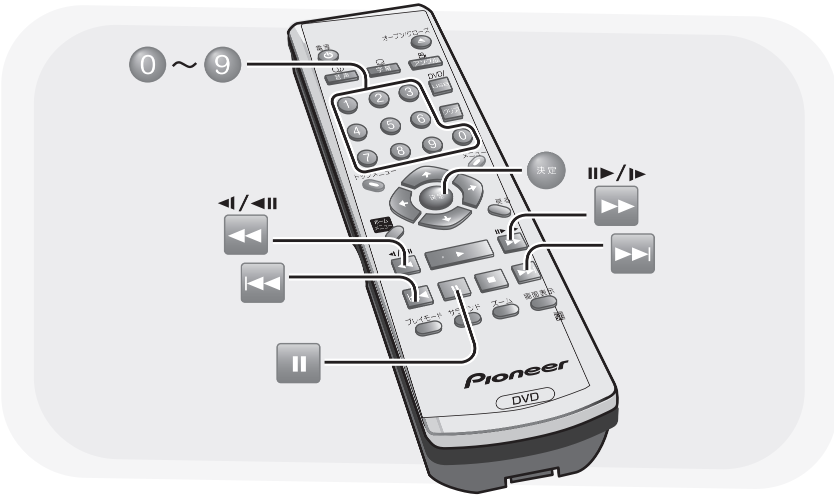
→ 720 x 480ピクセルより解像度が大きいファイルは再生できません。

→ DRMコピープロテクト*のかかったWMVファイルは再生できません。

Q8: 電源が自動的に切れてしまう

→ ディスクを再生していないときに約30分間、本体またはリモコンの操作を行わないと、電源が自動的にスタンバイ状態になります(**オートパワーオフ機能**)。

＊ DRM (Digital Rights Management) コピープロテクトは著作権保護のための技術で、違法な複製を防止するため録音時に使用したPC などの機器以外での再生を制限する機能です。
詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。



早送り/早戻し再生

DVDビデオ　DVDオーディオ　DVD VR　ビデオCD　SACD　CD (R-RW)　WMA MP3　MPEG-4 AAC　DivX®　WMV

1 再生中にリモコンの▶▶（または◀◀）ボタンを押す

- ボタンを押すたびに速さを 4 段階まで切り換えることができます。（DivX® WMV では速さを切り換えることはできません）。
- 通常の再生に戻すには▶**ボタン**を押します。

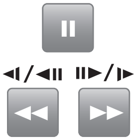
コマ送り/コマ戻し再生 DVDビデオ　DVD VR　ビデオCD　DivX®　WMV

◀I/◀II　II▶/I▶

1 再生中にIIボタンを押して一時停止させ、II▶/I▶（または◀I/◀II）ボタンを押す

- コマ送り/コマ戻し再生は音声が出力されません。
- 再生方向を変更したとき、一瞬映像が動くことがあります。
- コマ戻し再生中、映像が揺れることがあります。
- コマ送り/コマ戻し再生ができないディスクがあります。
- ビデオCD DivX® WMV は、コマ戻し再生ができません。
- 通常の再生に戻すには▶**ボタン**を押します。

スロー再生 DVDビデオ DVD VR ビデオCD DivX® WMV



1 再生中にIIボタンを押して一時停止させ、II▶/I▶（または◀I/◀II）ボタンを押し続ける

- 画面にスローの表示が出たら、手を離してもスロー再生を続けます。
- スロー再生中、ボタンを押すたびに速さを4段階まで切り換えることができます。
- スロー再生は音声が出力されません。
- スロー再生ができないディスクがあります。
- ビデオCD DivX® WMVは、逆方向のスロー再生ができません。
- 通常の再生に戻すには▶**ボタン**を押します。

頭出し(スキップ)

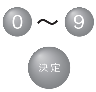
DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR ビデオCD SACD CD(R-RW) WMA MP3 MPEG-4 AAC DivX® WMV



1 再生中に▶▶I（またはI◀◀）ボタンを押す

- 押した数だけチャプター/トラックをスキップします。
- ビデオCDのPBC再生中(**P.26**)は、ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。

ダイレクトサーチ DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR ビデオCD SACD CD(R-RW)



1 数字ボタンでタイトル/チャプター/グループ/トラック番号を入力して、決定ボタンを押す

再生中にできるダイレクトサーチの種類

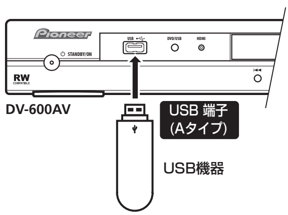
DVDビデオ	DVD VR	DVDオーディオ ビデオCD SACD CD(R/RW)
チャプターサーチ	**タイトルサーチ**	**トラックサーチ**

- **決定ボタン**を押さなくても、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- DVDビデオのチャプターサーチでは、再生中のタイトル内のチャプターのみを指定することができます。
- ダイレクトサーチができないディスクがあります。
- ディスク停止中にダイレクトサーチを行うと、DVDビデオは**タイトルサーチ**に、DVDオーディオは**グループサーチ**になります。

USB機器に記録されているファイルを再生する

☑ メモ

- お使いのUSB機器によっては、正しく認識できないことがあります。
- 著作権保護(DRM)されていないWMA、MP3、MPEG-4 AAC、およびJPEGファイルを再生できます。
- USB マスストレージクラスの機器（携帯フラッシュメモリー、またはデジタルオーディオ再生機器(FAT16/FAT32のフォーマット対応))にのみ対応しています。パソコンに記録されているファイルは再生できません。
- すべてのUSB機器に記録されているファイルの再生、およびUSB機器への電源供給は保証できません。また、万が一本機に接続したことでUSB機器のファイルが損失しても当社は一切の責任を負えません。あらかじめご了承ください。
- 容量の大きいUSB 機器を接続したとき、容量によっては読み込みに時間がかかります。大容量のときは読み込みに数分かかることもあります。
- USBハブには対応していません。
- 入力がUSBのときは、ホームメニューを表示できません。



1 本機の電源をオンにする

2 DVD/USBボタンを押す

- 本体表示窓にUSB MODEと表示されます。

3 USB機器を接続する

- ディスクナビゲーターが自動で表示されます。

4 再生したいファイルを選んで決定ボタンを押す

- 再生を開始します。
- USB 機器に記録されているファイルの再生方法はディスクを再生するときと同じです。詳しくは「再生する」（**P.13**）、または「いろいろな機能を使う」（**P.19**）をご覧ください。

5 電源をオフにしてからUSB機器を取り外す

- 次に電源をオンにしたときの入力は USB のままです。入力をDVDに戻すときは**DVD/USBボタン**を押す、または**▲開/閉ボタン**でディスクテーブルを開けてください。

☑ 注意

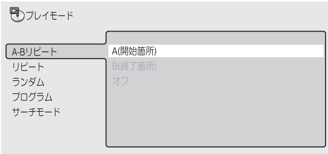
USB機器の消費電力が大きいときは電源を供給できません（本体表示窓に[USB ERR]と表示されます）。再度、下記の操作を行ってください（それでも[USB ERR]が表示されるときは、接続した機器が本機に対応していないことが原因の可能性があります)。

- 本機の電源をオフにしてから、再度オンにする。
- 本機の電源をオフにしてから、USB 機器を取り外し、再度接続する。
- **DVD/USB ボタン**を押して入力をDVDに戻してから再度USBに切り換える(入力をDVDに戻したときは、本体表示窓に [LOADING] と表示され、ディスクを認識します。入力を USB に戻したときは本体表示窓に [USB MODE] と表示されます)。
- USB 機器にACアダプターを接続して使う(USB機器にACアダプターが付属しているとき)。

いろいろな機能を使う

指定した部分を繰り返し再生する(A-Bリピート)

DVDビデオ　DVD VR　ビデオCD　CD(R-RW)



1 再生中にプレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[A-Bリピート]を選択する

2 [A(開始箇所)]を選択して、開始したい箇所で決定ボタンを押す

3 [B(終了箇所)]を選択して、終了したい箇所で決定ボタンを押す

A-Bリピート再生を開始します。

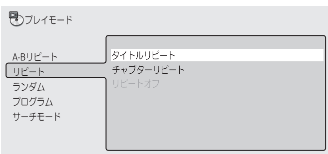
➡解除するときは、[オフ]を選択する

☑ **メモ**

- ビデオCD のPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください(**P.26**)。
- 異なるタイトルをまたいでA-Bリピート再生をすることはできません。
- A-Bリピート再生ができないディスクもあります。

繰り返し再生する(リピート)

DVDビデオ　DVDオーディオ　DVD VR　ビデオCD　SACD　CD(R-RW)　DivX®　WMV



1 再生中にプレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[リピート]を選択する

2 リピート再生の種類を選び、決定ボタンを押す

リピート再生を開始します。

- **タイトルリピート**
- **チャプターリピート**
- **グループリピート**
- **ディスクリピート**
- **トラックリピート**
- **プログラムリピート**

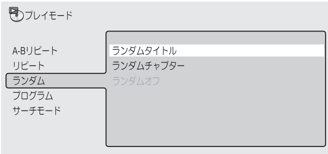
＊ リピート再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。

➡解除するときは、[リピートオフ]を選択する

☑ **メモ**

- ビデオCD のPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください(**P.26**)。
- ディスクを停止するとリピート再生は解除されます。
- リピート再生ができないディスクもあります。

順不同に再生する(ランダム) DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SACD CD(R-RW)



1 プレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[ランダム]を選択する

2 ランダム再生の種類を選び、決定ボタンを押す

次のタイトルなどからランダム再生を開始します。

- **ランダムタイトル**
- **ランダムチャプター**
  再生中のタイトル内のチャプターを順不同に再生します。
- **ランダムグループ**
- **ランダムトラック**
  再生中のグループ内のトラックを順不同に再生します。
- **ランダムオール(ランダムオン)**
  ディスク内のトラックを順不同に再生します。

＊ ランダム再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。

➡解除するときは、[ランダムオフ]を選択する

☑ メモ

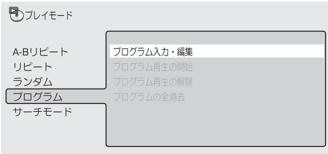
- ビデオCD のPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください(**P.26**)。
- ディスクを停止するか、**ランダムオフ**を選択するまで、ランダム再生を続けます。
- ランダム再生ができないディスクもあります。
- ランダム再生とプログラム再生を同時に行うことはできません。
- ランダム再生中に▶▶I**ボタン**を押すと、順不同に次のタイトル等を選択して再生します。また、I◀◀**ボタン**を押すと、現在再生中のタイトル等の始めに戻り再生します。
- 現在再生中のタイトル等より前のタイトル等に戻ることはできません。
- 毎回ランダムに選択するため、同じタイトル等を何度も再生する場合があります。

■プレイモード画面について

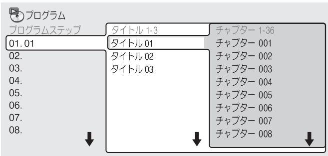


- **ホームメニューボタン**を押して、ホームメニュー画面から[**プレイモード**]を選択して表示することもできます。
- ビデオCD のPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください(**P.26**)。

好みの順に再生する(プログラム) DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SACD CD(R-RW)



↓



＊ ディスクによってプログラム入力、編集画面が異なります。

1 プレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[プログラム]を選択する

2 [プログラム入力・編集]を選択して、決定ボタンを押す

3 プログラムしたいタイトル/チャプター/グループ/トラックを選択して、決定ボタンを押す

プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。

4 3を繰り返して、他のタイトルなどを入力する

➡ステップの間にプログラムを追加する

① プログラムステップの追加したい箇所にカーソルを合わせる。

② 追加するタイトル等を選択して**決定ボタン**を押す。

- 追加した箇所にあったタイトル等は、新しいプログラムの後ろに移動します。

➡入力中にプログラムを削除する

① 削除したいプログラムステップにカーソルを合わせる。

② **クリアボタン**を押す。

- プログラムが削除され、その後ろにあったタイトル等が1つ前に繰り上がります。

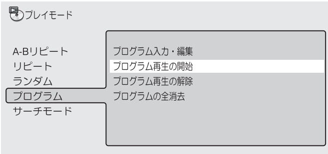
5 ▶ボタンを押す

プログラムした順に再生を開始します。

☑ メモ

- ビデオCD のPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください(**P.26**)。
- 一時停止をプログラムすることはできません。
- タイトル等が変わるときに、プログラムしていないタイトル等の映像が見えることがあります。これは故障ではありません。
- プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の**[リピート]**から**[プログラムリピート]**を選択します(**P.19**)。
- プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。
- プログラム再生中に ▶▶I **ボタン**を押すと、次のプログラムステップのタイトル等を再生します。

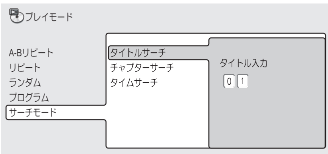
■プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去する



- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します。

見たい場面を探す(サーチモード)

DVDビデオ　DVDオーディオ　DVD VR　ビデオCD　SACD　CD(R-RW)　DivX®　WMV



1 再生中にプレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[サーチモード]を選択する

2 サーチモードの種類を選び、決定ボタンを押す

- **タイトルサーチ**
- **チャプターサーチ**
- **トラックサーチ**
- **タイムサーチ**（ビデオCD　CD(R/RW) では、再生中のトラック内の時間を、DVDビデオ　DivX®　WMV では再生中のタイトル内の時間を指定して再生します。）

＊ サーチモードの種類は、再生しているディスクによって異なります。

3 数字 (0～9) ボタンで再生したいタイトル / チャプター/グループ/トラックまたは時間を入力して、決定ボタンを押す

指定したタイトル、チャプター、または時間から再生を開始します。

➡タイムサーチを選択したとき

- 21分43秒を再生するには、**2,1,4,3**を押して、**決定ボタン**を押します。
- 1時間4分(64分00秒)を再生するには、**6,4,0,0**を押して、**決定ボタン**を押します。

☑ メモ

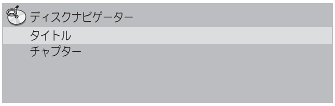
- DVDオーディオ には、静止画が収録されているディスクがあります(**P.61**)。静止画の種類によって、静止画の番号(ページ)を指定してサーチすることができます。
- ビデオCD のPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください(**P.26**)。
- DVDビデオ では、ディスクメニューで見たい場面を探す(サーチする)ことができるディスクがあります。このときは、リモコンの**メニューボタン**でディスクメニューを表示させてサーチしてください(**P.14**)。
- DVDオーディオ　SACD では、タイムサーチができません。
- DivX®　WMV では、タイムサーチのみ選択することができます。

ディスクナビゲーターを使って再生する

DVDビデオ　DVD VR　ビデオCD

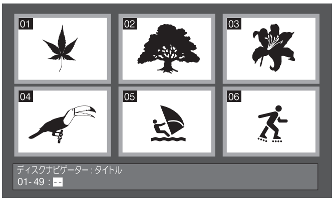


↓



＊ ディスクによって表示内容が異なります。

↓



1 再生中にホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる

2 [ディスクナビゲーター]を選択して、決定ボタンを押す

3 ⬆⬇ボタンで種類を選択する

DVDビデオ	DVD VR	ビデオCD
タイトル チャプター	オリジナル : タイトル オリジナル : 時間 プレイリスト : タイトル プレイリスト : 時間	トラック 時間

- **[時間]**を選択すると、10分おきの画像を表示します。

4 先頭の画面が6枚ずつ表示されるので、再生したいタイトルなどを探す

- **▶▶|ボタン**を押すと、次の6枚に切り換わります(**|◀◀ボタン**で戻ります)。
- **ホームメニューボタン**を押すと、ディスクナビゲーター画面が終了します。
- **戻るボタン**を押すと、ディスクナビゲーターの種類を選択する画面に戻ります。

5 数字ボタンで番号を入力して決定ボタンを押す

- 番号にカーソルを合わせて**決定ボタン**を押しても再生することができます。

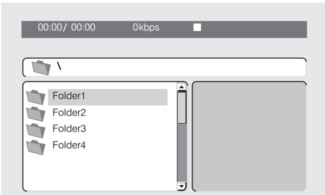
☑ メモ

- ビデオCD のPBC再生中はディスクナビゲーター画面を表示することができません。PBC再生を解除してください(**P.26**)。
- DVDレコーダーで録画して作られたタイトルを**[オリジナル]**、オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを**[プレイリスト]**といいます。
- プレイリストが作成されていないときは、**[プレイリスト]**は選択できません。
- 一部の DVDビデオ では、ディスクナビゲーターが使用できない場合があります。

WMA MP3　MPEG-4 AAC　JPEG　DivX®　WMV

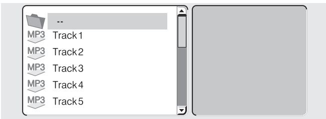


↓

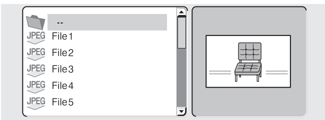


↓

＊ WMA/MP3 の場合



＊ JPEG の場合



1 ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる

2 [ディスクナビゲーター]を選択して、決定ボタンを押す

3 ⬆⬇ボタンでフォルダーを選択して、決定ボタンを押す

- 半角英数字以外の文字には対応していません。半角英数字以外で入力されたフォルダー/トラック/ファイル名は文字化けしたり、[F_001]/[T_001]/[FL_001]のように表示されることがあります。

4 ⬆⬇ボタンで再生したいトラック/ファイルを選択する

- JPEG でファイルにカーソルを合わせると、選択されているファイルの画像が表示されます。
- **⬅ボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

5 決定ボタンを押す

- 選択したトラック/ファイルから再生を開始します。
- JPEG では、画像が次々に表示されます（スライドショー）。
- スライドショーで表示される画像のアスペクト比が異なるときは、画像の縦、または横に黒帯が出ることがあります。
- **ホームメニューボタン**を押すと、ディスクナビゲーター画面が終了します。

☑ メモ

- WMA/MP3 MPEG4-AAC JPEG DivX® WMV では、ディスク情報の読み込み中に、画面に**[読込中]**と表示されます。表示が消えてから再生してください。
- [📁 --]を選択して**決定ボタン**を押しても、上の階層に戻すことができます。
- ディスクナビゲーターを使うと、フォルダーごとの再生となります。フォルダーをまたいで再生したいときは、ディスクをセットしたあとに**▶ボタン**を押して再生を開始してください。
- JPEGとWMA/MP3が混在するディスクを再生する場合、先にWMA（またはMP3）を選択してからJPEGファイルを選択すると、JPEGファイルとWMA（またはMP3）を同時に再生することができます。ただし、この場合はフォルダーごとの再生となります。
- フォルダーをまたいで同時再生したいときは、ディスクをセットしたあとに**▶ボタン**を押して再生を開始してください。

アングルを切り換える DVDビデオ

複数のアングルが収録されている DVDビデオ では、再生中にアングルを切り換えることができます (マルチアングル)。詳しくは **P.61, 63** をご覧ください。



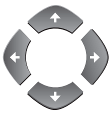
1 アングルボタンを押す

- 現在のアングルと、収録されているアングルの総数が表示されます。押すたびにアングルが切り換わります。

☑ **メモ**

- 複数のアングルが収録されている場所にくると、マークが画面に表示されます。マークを表示させたくないときは、初期設定の**[アングルマーク表示]**を**[オフ]**にします(**P.44**)。
- マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。
- ディスクメニューでアングルを切り換えることができるディスクもあります(**P.14**)。

画像を回転/反転する JPEG



1 ↑/↓/←/→ボタンを押す

→ －押すたびに画像が時計回りに90゜回転します。

← －押すたびに画像が反時計回りに90゜回転します。

↑ －画像の上下が反転します。

↓ －画像の左右が反転します。

☑ **メモ**

- 通常のスライドショーに戻すには▶**ボタン**を押します。

画像を拡大する DVDビデオ DVD VR ビデオCD JPEG DivX® WMV



1 ズームボタンを押す

- ズームエリア(拡大する場所)が表示されます(JPEG を除く)。↑↓←→**ボタン**でズームエリアを移動することができます。
- 押すたびに、2倍→4倍→通常と変化します。

☑ **メモ**

- JPEG では、▶**ボタン**を押してスライドショーに戻すこともできます。

いろいろな機能を使う

ディスクの情報を見る

DVDビデオ　DVDオーディオ　DVD VR　ビデオCD　SACD　CD (R-RW)　WMA MP3　MPEG-4 AAC　JPEG　DivX®　WMV

画面表示

1 再生中に画面表示ボタンを押す

- ディスクの経過時間や残量などを表示します。

例）

再生	►	DVDビデオ		チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
タイトル	1/3	0.12	138.47	138.59
音声	1. 英語 Dolby Digital 3/2.1CH	字幕	2. 日本語	アングル 1

- ディスクによっては、**画面表示ボタン**を押すたびに表示内容が切り換わります。
- **画面表示ボタン**を数回押すと、表示がオフになります。

☑ メモ
- ビデオCDのPBC再生中は一部の情報が表示されません。PBC再生を解除してください(**下記参照**)。

メニュー画面から再生する(PBC再生) ビデオCD

ビデオCDでは、メニュー画面に従って再生することを PBC(プレイバックコントロール) 再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。

ビデオCDカラオケ

1	*Stand up!*	Rock
2	*Hello!*	Pops
3	*Over the Mountain*	R&B
4	*Help Me!*	Jazz
5	*It's fine today*	Pops

＊ ディスクによって表示内容が異なります。

1 PBC再生対応ディスクを入れ、►ボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 数字（0～9）ボタンで再生したいトラックを選択して、決定ボタンを押す

再生を開始します。

- 再生中に**戻るボタン**を押すとメニュー画面に戻ります。

➡メニュー画面のページをめくる、または戻すには

- メニュー画面を表示中に►►I、またはI◄◄**ボタン**を押す。

➡メニュー画面を出さずに再生するには（PBC再生を解除して再生する）

下記のいずれかの方法で再生してください。

- 停止中に、**数字(0～9)ボタン**で再生するトラックを選択して、**決定ボタン**を押す。
- **停止中**に►►I、またはI◄◄**ボタン**を押す。

音声を切り換える

DVDビデオ　DVDオーディオ　DVD VR　ビデオCD　CD(R-RW)　WMA MP3　MPEG-4 AAC　DivX®

音声

1 再生中に音声ボタンを押す

- 押すたびに音声が切り換わります。

例）

	現在/総数		
音声	1/3	英語	Dolby Digital 3/2.1CH
音声	2/3	日本語	Dolby Digital 3/2.1CH
音声	3/3	英語	Dolby Digital 2/0 CH

＊ 3/2.1CHはディスクに記録されている音声のチャンネル数です。詳しくは**P.66**をご覧ください。

- 二カ国語で記録された DVD VR では、主、副、主/副音声が切り換わります。
- ビデオCD CD(R/RW) では、ステレオ、左、右が切り換わります。
- DVDオーディオ の再生中に **音声ボタン**で音声を切り換えると、そのトラックの始めから再生を行います。

☑ メモ

- DVDビデオ によっては **音声ボタン**で音声を切り換えられない場合があります。DVDのメニュー画面で切り換えてください(**P.14**)。
- ディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。
- ここで切り換えた音声の設定は、リジューム機能(**P.14**)を解除したとき、またはラストメモリーを記憶させないでディスクを取り出したときに初期設定画面の設定(**P.43**)に戻ります。

字幕を切り換える DVDビデオ DivX®

字幕

1 再生中に字幕ボタンを押す

- 押すたびに字幕言語が切り換わります。

例）

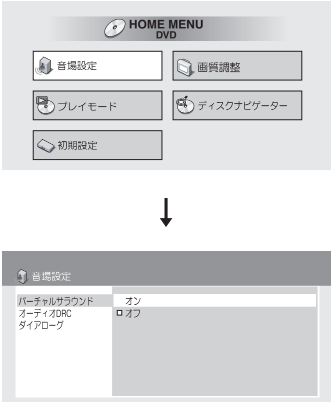
	現在/総数	
字幕	1/2	日本語
字幕	2/2	英語
字幕	オフ	

＊ 字幕が収録されていないときは［ー / ー］が表示されます。

☑ メモ

- DVDビデオ によっては **字幕ボタン**で字幕言語を切り換えられない場合があります。DVDのメニュー画面で切り換えてください(**P.14**)。
- ここで切り換えた字幕言語の設定は、リジューム機能(**P.14**)を解除したとき、またはラストメモリーを記憶させないでディスクを取り出したときに初期設定画面の設定(**P.43**)に戻ります。

音場を設定する



DV-600AV

1 ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる

2 [音場設定]を選択して、決定ボタンを押す

3 ⬆ ⬇ ⬅ ➡ボタンと決定ボタンを使って、各項目を設定する

4 ホームメニューボタンを押して、設定画面を終了させる

- 新しく設定した内容が保存されます。

イコライザー (DV-400Vのみ)

音楽 CD などで再生するジャンルによって切り換えると、効果的に楽しむことができます。

- **オフ** (出荷時の設定)、**ロック、ポップ、ライブ、ダンス、テクノ、クラシック、ソフト**

バーチャルサラウンド

2つのスピーカーで臨場感のある立体音場を再現することができます。

- **オン、オフ**(出荷時の設定)

オーディオDRC

オーディオ DRC(ダイナミックレンジコントロール) を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。たとえば、深夜に映画を見るようなときに変更します。オーディオ DRC はドルビーデジタル音声にのみ働きます。

- **大、中、小、オフ**(出荷時の設定)

ダイアローグ

映画などをDVDで見るとき、記録されたフォーマットによってはセリフの音が小さくて聴き取りにくい場合があります。そのようなときに変更します。

- **大、中、小、オフ**(出荷時の設定)

☑ メモ

- すべての効果を同時に設定することができます。
- **[バーチャルサラウンド]**を設定時は、96 kHz以上のリニアPCM音声は48 kHzに変換されて出力されます。
- **[バーチャルサラウンド]**、**[ダイアローグ]**はデジタル音声出力にも効果があります。ただし、デジタル音声出力が ドルビーデジタル、DTS、またはMPEG音声で出力されているときは効果がありません(デジタル音声出力の設定については**P.36**をご覧ください)。
- **[バーチャルサラウンド]**は、リモコンの**サラウンドボタン**を押して、**[オン]**または**[オフ]**を選択することもできます。
- **[バーチャルサラウンド]**、**[オーディオDRC]**の効果が少ないディスクもあります。
- **[バーチャルサラウンド]**は DVDオーディオ SACD には効果がありません。
- **[オーディオDRC]**はデジタル音声出力端子(光/ 同軸)から出力される音声にも効果があります。ただし、**[デジタル音声出力]**の**[デジタル出力]**を**[オン]**に設定して、さらに**[DDDigital出力]**を**[DDDigital>PCM]**に設定してください(**P.36**)。
- **[オーディオDRC]**の効果は、お使いのスピーカーやテレビ、またはAVアンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、一番効果的な設定を選択してください。
- **[音場設定]**は、HDMI出力端子から出力される音声にも効果があります。制約事項は上記と同じです。

画質を調整する

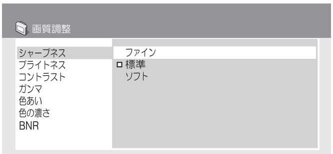
画質を調整してより見やすくする



↓

＊ 項目によって設定画面が異なります。

例1）



DV-600AV

例2）



＊ **戻るボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

1 ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる

2 [画質調整]を選択して、決定ボタンを押す

3 ↑ ↓ ← →ボタンと決定ボタンを使って、各項目を設定する

4 ホームメニューボタンを押して、設定画面を終了させる

- 新しく設定した内容が保存されます。

シャープネス

画像の鮮明度を調整します。

- **ファイン、標準(出荷時の設定)、ソフト**

ブライトネス

画面の明るさを調整します。

- **−20〜+20(出荷時の設定：0)**

コントラスト

最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。

- **−16〜+16(出荷時の設定：0)**

ガンマ

画像の暗い部分の見えかたを強調します。

- **大、中、小、オフ(出荷時の設定)**

色あい

緑色と赤色のバランスを調整します。

- **緑9〜赤9(出荷時の設定：0)**

色の濃さ

色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

- **−9〜+9(出荷時の設定：0)**

BNR(DV-600AVのみ)

映像のブロックノイズを軽減します。

- **オン、オフ(出荷時の設定)**

☑ メモ

- ディスクやテレビ(モニター)によっては効果がはっきりしないことがあります。
- **[画質設定]**は、HDMI出力端子から出力される映像にも効果があります。

他機器との接続

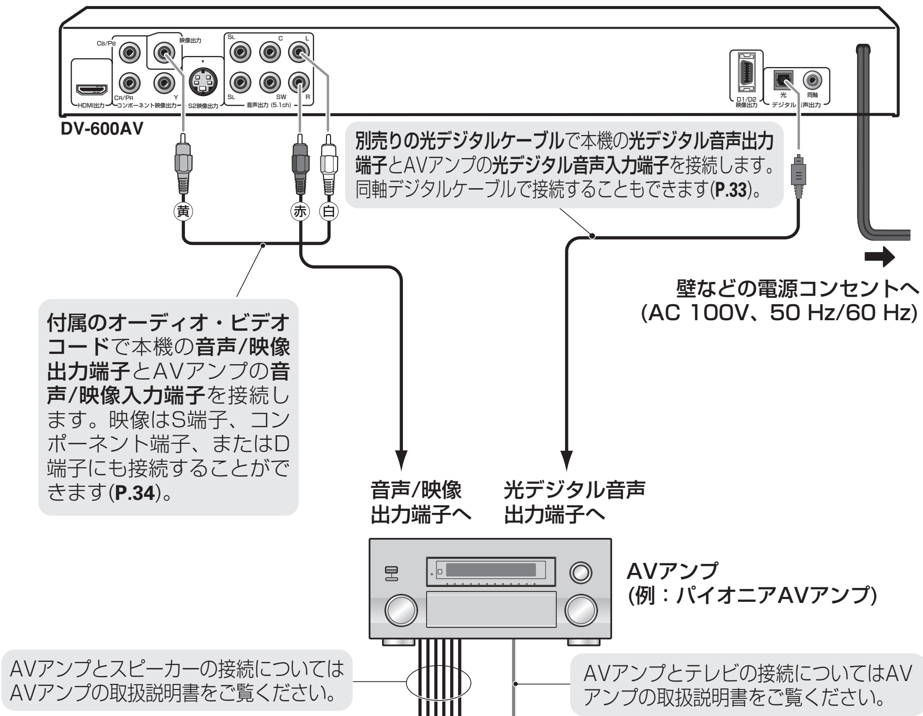
機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

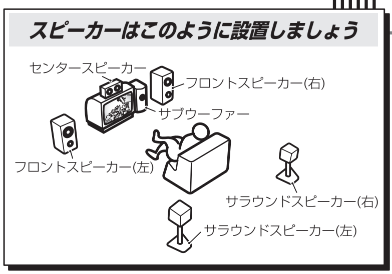
5.1チャンネルサラウンドシステムの接続

▼5.1 ch サラウンドサウンドを楽しむために必要な機器は？

- ドルビーデジタル /DTS などのデジタル入力に対応した AV アンプ、またはデコーダー
- 5 ch スピーカー (フロント左右 / センター / サラウンド左右) ＋サブウーファー
- 光デジタルケーブル、または同軸デジタルケーブル
- DTS 5.1 ch サラウンドを楽しむときは、[DTS 出力] を [DTS] に設定してください (**P.37**)。

■ DVD ビデオの 5.1ch サラウンドサウンドを楽しむための接続





❓ Q&A

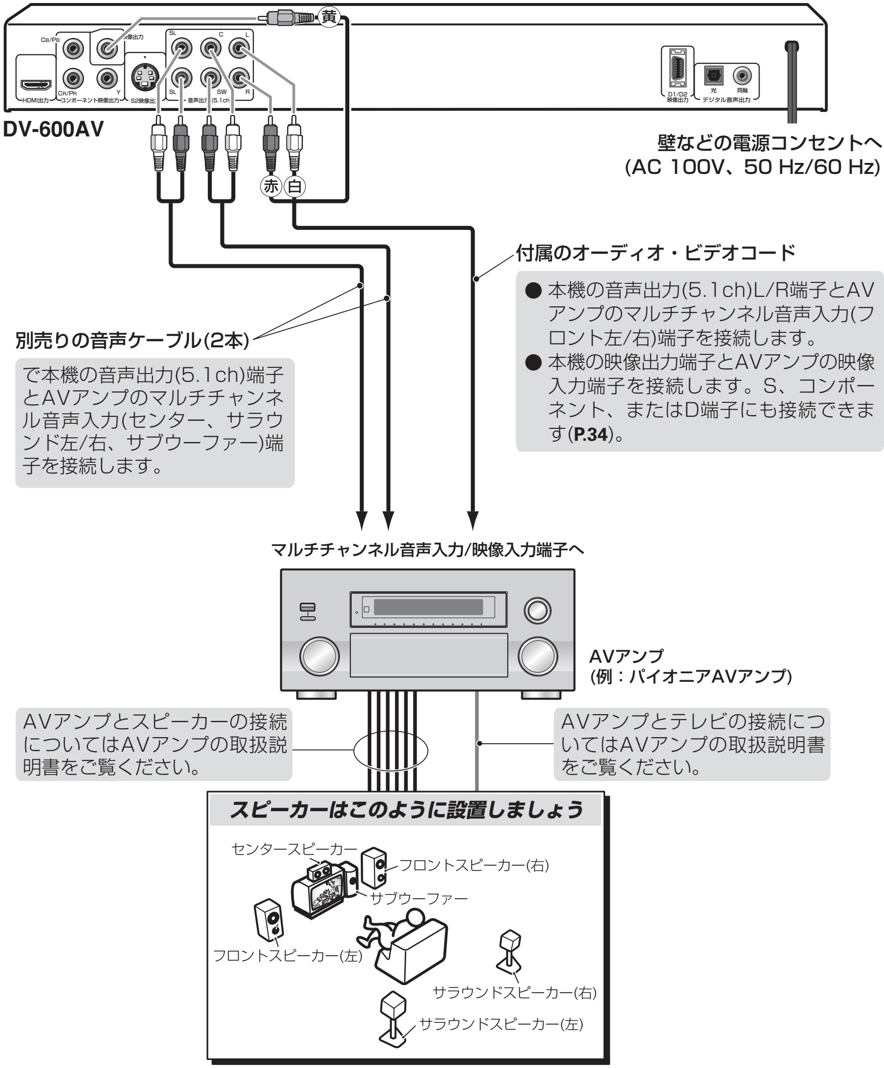
Q: スピーカーから音が出ない。

→ AVアンプの入力設定が正しく選択されていますか？詳しくはAVアンプの取扱説明書をご覧ください。

→ [**デジタル出力**]の設定で[**オフ**]を選択していませんか？[**オン**]を選択してください(**P.36**)。

■ DVD オーディオや SACD の 5.1ch サラウンドサウンドを楽しむための接続 (5.1chアナログ音声出力端子に接続して5.1chサラウンドを楽しむ) (DV-600AV のみ)

5.1ch アナログ音声出力端子を接続するときは、付属の音声ケーブル (1 本) と別売りの音声ケーブル (2 本) が必要です。また、**[音声出力モード]**(**P.47**) を **[5.1 チャンネル]** に設定してください。



音声ケーブルのつなぎかた

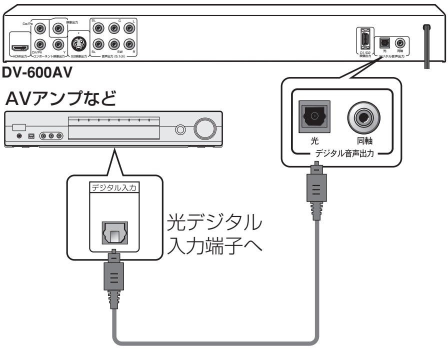
■デジタル音声入力端子のある機器との接続

デジタル音声入力端子のある AV アンプやデジタル録音対応機器 (MD、CD-R(CD レコーダー)、DAT など) とデジタル接続することができます。光デジタル端子と同軸デジタル端子に接続する 2 つの方法があります。

- 光出力端子に接続するときは、光キャップを抜いてから、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと、端子が変形してしまいます。
  また光キャップは大切に保管し、光出力端子に何も接続しないときは、光キャップを差し込んだ状態で本機を使用してください。

光デジタル音声入力端子のある機器と接続する

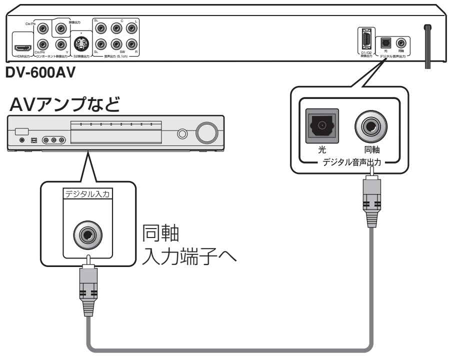
別売りの光デジタルケーブルで接続します。



光デジタルケーブル(別売り)

同軸デジタル音声入力端子のある機器と接続する

別売りの同軸デジタルケーブルで接続します。

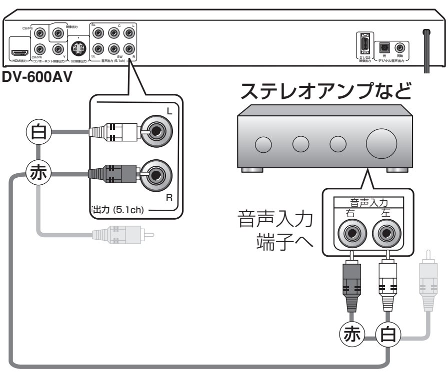


75 Ω同軸デジタルケーブル(別売り)

■ 2ch アナログ音声入力端子やモノラル音声入力端子のある機器との接続

2ch アナログ音声入力端子と接続する

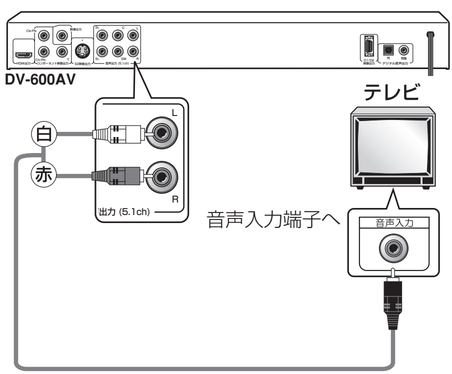
付属のオーディオ・ビデオコードで接続します。



オーディオ・ビデオコード(付属)

モノラル音声入力端子のあるテレビと接続する

別売りのステレオ⇔モノラル音声ケーブルで接続します。

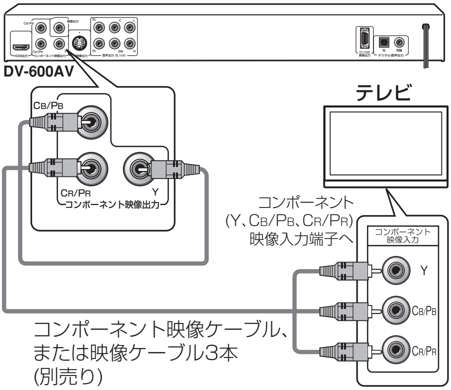


ステレオ⇔モノラル音声ケーブル(別売り)

映像ケーブルのつなぎかた

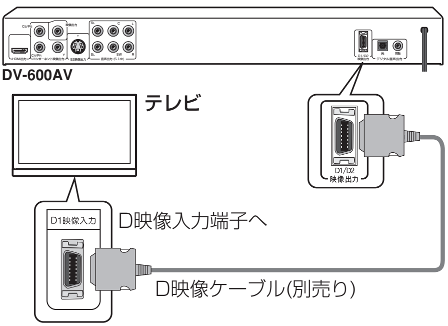
コンポーネント (Y,CB/PB,CR/PR) 映像入力端子のあるテレビと接続する

別売りのコンポーネント映像ケーブルで接続します。本機の高い映像品質を楽しむときにもっとも適した接続です。



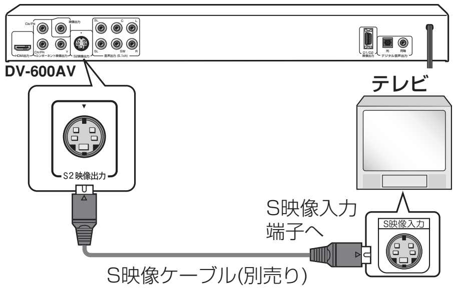
D 映像入力端子のあるテレビと接続する

別売りの D 映像ケーブルで接続します。専用ケーブル 1 本で、コンポーネント映像ケーブルを使った接続と同様の高い映像品質を楽しむことができます。本機の D1/D2 端子は、接続するテレビの D1、D2、D3、または D4 のいずれの入力端子にも接続することができます。ただし、D1 入力端子と接続したときは、インターレース出力のみとなります。



S 映像入力端子のあるテレビと接続する

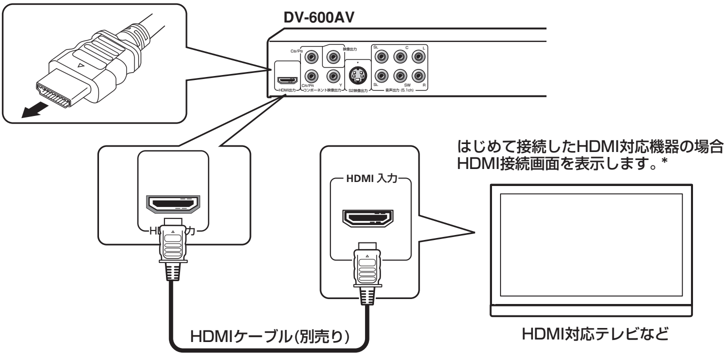
別売りの S 映像ケーブルで接続します。付属の映像ケーブルを使った接続より、高い映像品質を楽しむことができます。本機は S2 出力に対応しています。



HDMIケーブルのつなぎかた

HDMI 入力端子のある機器と接続する

別売りの HDMI ケーブルで接続します。非圧縮のデジタル映像とデジタルオーディオ音声を一本のケーブルで接続することができます。デジタルで伝達するため、劣化のない高品質な映像と音声を楽しむことができます。



＊ 本機は接続した HDMI 機器の性能によらず、手動で出力内容を設定します。詳細は「HDMI 画素数」の設定 (**P.42**) を参照してください。また本機で記憶できる HDMI 機器の設定は 2 台までです。

☑ メモ
- HDMI 対応機器と接続すると表示部に「※※※※」と解像度が表示されます。

本機の HDMI 出力端子から出力できる映像 / 音声の仕様

■映像 (解像度)

- 720 × 480 ピクセルのプログレッシブ / インターレース映像
- 1280 × 720 ピクセルのプログレッシブ映像
- 1920 × 1080 ピクセルのプログレッシブ / インターレース映像

☑ メモ
- お手持ちの受像機 (HDMI 機器) が上記画素に対応していないと正しく映らない場合があります。
- 本機は HDMI 機器との接続を目的として設計されています。DVI 機器に接続した場合、DVI 機器によっては正常に動作しない場合があります。
- 本機の HDMI インターフェースは以下の規格に基づいて設計されています。

■音声

DV-600AV:
- サンプリング周波数 44.1 kHz～192 kHz、16 bit/20 bit/24 bit の 2ch リニア PCM 音声 (2ch ダウンミックスを含む)
- サンプリング周波数 44.1 kHz ～ 96 kHz、16 bit/20 bit/24 bit の 5.1ch リニア PCM 音声、5.1ch ビットストリーム (ドルビーデジタル、DTS、MPEG)
- 5.1ch/2ch DSD 音声

DV400V:
- サンプリング周波数 44.1 kHz ～ 96 kHz、16 bit/20 bit/24 bit の 2ch リニア PCM 音声 (2ch ダウンミックスを含む) 、または 5.1ch ビットストリーム (ドルビーデジタル、DTS、MPEG)

設定をする

初期設定を変更する



1 ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる

2 [初期設定]を選択して、決定ボタンを押す

ディスクの再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

3 ↑↓←→ボタンと決定ボタンを使って、各項目を設定する

☑ メモ

- [HDMI 出力]、[HDMI画素数]、[HDMI カラー]の設定項目は、本機とHDMI対応機器をHDMIケーブルで接続した場合のみ、設定が必要です。
- [デジタル音声出力]、[コンポーネント出力]、[SACD 再生]（DV-600AV のみ）、[スピーカー]（DV-600AV のみ）の設定項目は、本機と HDMI 対応機器を HDMI ケーブルで接続した場合は設定できません。また、[HDMI 出力]、[HDMI 画素数] および [HDMI カラー] の設定によって設定が自動で変更されます。

デジタル音声出力

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
デジタル出力 光デジタル音声出力からの出力を設定します。	●**オン**：音声を出力するとき。 ○**オフ**：音声を出力しないとき。 ☑ メモ • SACD はデジタル出力しません。 DVDオーディオ はマルチチャンネル音声をダウンミックスしてデジタル出力されます。この場合、デジタル出力できないディスクもあります。
DD Digital 出力 デジタル出力している AVアンプがドルビーデジタル音声に対応していないときに、[DD Digital ＞ PCM] を選択します。	● **DD Digital**：ドルビーデジタル音声のまま出力したいとき。 ○ **DD Digital ＞ PCM**：ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力したいとき。

デジタル音声出力

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
DTS 出力 デジタル出力している AVアンプがDTS音声に対応していないときに、**[DTS＞PCM]**を選択します。	● **DTS**：DTS 信号を出力したいとき。 ○ **DTS>PCM**：DTS 信号をリニア PCM 信号に変換して出力したいとき。DTSに対応していないアンプに接続するときに選択します。 ☑ **メモ** • DTS に対応していないアンプに接続しているときに**[DTS]**を選択すると、ノイズが発生することがあります。 • **[DTS>PCM]**に設定する場合、DTSマルチチャンネルのダウンミックス方法を選択することができます。
リニア PCM 出力 (DV-600AV) 96kHz 対応アンプまたはデコーダーと接続したときに、**[ダウンサンプルオフ]** を選択します。	●**ダウンサンプルオン**：96 kHz に対応していないアンプと接続したとき。各系統の音声周波数を 48 kHz/44.1 kHzにダウンサンプリングして出力します。 ○**ダウンサンプルオフ**：96 kHz 対応アンプまたはデコーダーと接続したとき。 ☑ **メモ** • DVDオーディオの 192 kHz/176.4 kHzサンプリング音声のとき、**[ダウンサンプルオフ]**を選択していてもデジタル出力は強制的に96 kHz/88.2 kHzにダウンサンプルされます。また、著作権保護されている場合は、自動的に48 kHz/44.1 kHzに変換されます(96 kHz/88.2 kHzリニアPCM音声を含む)。このようなDVDは高音質のアナログ音声出力でお楽しみください。
96 kHz PCM 出力 (DV-400V) デジタル出力しているAVアンプが96 kHzリニア PCM 音声に対応しているときに、**[96 kHz]** を選択します。	● **96 kHz ＞ 48 kHz**：96 kHz の信号を 48 kHz に変換して出力したいとき。 ○ **96 kHz**：96 kHz 対応アンプまたはデコーダーと接続したとき。 ☑ **メモ** • DVDオーディオの 192 kHz/176.4 kHzサンプリング音声のとき、**[ダウンサンプルオフ]**を選択していてもデジタル出力は強制的に96 kHz/88.2 kHzにダウンサンプルされます。また、著作権保護されている場合は、自動的に48 kHz/44.1 kHzに変換されます(96 kHz/88.2 kHzリニアPCM音声を含む)。このようなDVDは高音質のアナログ音声出力でお楽しみください。

デジタル音声出力

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容

MPEG 出力

デジタル出力している AV アンプが MPEG 音声に対応しているときに、[MPEG] を選択します。

○ **MPEG**：MPEG 音声を出力したいとき。

● **MPEG > PCM**：MPEG 音声信号をリニア PCM 信号に変換して出力したいとき。

HDMI 出力

接続した HDMI 機器への音声出力を変更する。

DV-600AV:

音声の種類		HDMI出力の設定			
		LPCM(2CH)	LPCM(5.1CH)	自動	自動(DSD)
DVD	リニアPCM (DVD-RWを含む)	左/右	左/右	左/右	左/右
DVD	MPEG (DVD-RWを含む)	左/右	5.1ch*3	MPEG*4	MPEG*4
DVD	ドルビーデジタルカラオケ	左/右	5.1ch*3	ドルビーデジタル*4	ドルビーデジタル*4
DVD	ドルビーデジタル (DVD-RWを含む)	2ch音声に変換	5.1ch*3	ドルビーデジタル*4	ドルビーデジタル*4
DVD	DTS	2ch音声に変換	5.1ch*3	DTS*4	DTS*4
DVDオーディオ (CPPMあり)*1		左/右 または 2ch音声に変換*2	5.1ch*3	5.1ch*3	5.1ch*3
DVDオーディオ (CPPMなし)		左/右 または 2ch音声に変換*2	5.1ch*3	5.1ch*3	5.1ch*3
CD	CD/MP3/WMA/MPEG-4 AAC	左/右	左/右	左/右	左/右
CD	Video CD	左/右	左/右	左/右	左/右
CD	DTS CD	左/右	5.1ch*3	DTS*4	DTS*4
SACD*5		左/右	5.1ch*3	5.1ch*3	5.1ch(DSD)*3, 6

DV-400V:

音声の種類		HDMI出力の設定	
		LPCM(2CH)	自動
DVD	リニアPCM (DVD-RWを含む)	左/右	左/右
DVD	MPEG (DVD-RWを含む)	左/右	MPEG*4
DVD	ドルビーデジタル (DVD-RWを含む)	2ch音声に変換	ドルビーデジタル*4
DVD	ドルビーデジタルカラオケ	左/右	ドルビーデジタル*4
DVD	DTS	2ch音声に変換	DTS*4
CD/MP3/WMA/MPEG-4 AAC		左/右	左/右
Video CD		左/右	左/右
DTS CD		左/右	DTS*4

○**自動**：接続した機器の音声入力設定がドルビーデジタル、DTS、MPEGの場合はビットストリームのまま出力し、LPCMの場合はそのまま出力されます。接続先がビットストリームを受けられない場合、PCM に変換して出力します。SACD の音声はリニア PCM で出力されます。

○**自動 (DSD) (DV-600AV のみ)**: SACD の DSD 音声を出力するときに選びます。

● **LPCM(2CH)**：接続した HDMI 機器がステレオ入力のみ受けられる場合に選択します。マルチチャンネル音声は LPCM 2ch にダウンミックスして出力されます。

○ **LPCM(5.1CH) (DV-600AV のみ)**：接続したHDMI 機器がLPCM マルチチャンネルに対応している場合に選択します。すべての音声信号が LPCM 5.1chで出力されます。（すべてのストリームを本機でデコードしたい場合は、この設定を選択してください。）

○ **Off**：接続した HDMI 機器から音声を出力しないときに選択します。（このときはデジタル音声出力やスピーカーの設定が有効になります）また、**[デジタル出力]**、**[SACD 再生]**、または **[スピーカー]** の設定を変更したいときに選びます。

***1** *CPPM で保護されている DVD オーディオを再生したときに出力される音声については次ページをご覧ください。*

***2** *ディスクが音声の変換を禁止しているときは、フロント左 / 右の音声のみ出力します。*

***3** *接続している HDMI 対応機器がマルチチャンネルに対応していないときは、**[LPCM(2CH)]** に設定したときと同じ音声が出力されます。SACD では、SACD エリアの 2 チャンネル (ステレオ) 音声を出力します。*

***4** *接続している HDMI対応機器がドルビーデジタル、DTS、MPEGなどに対応していないときは自動でリニア PCM 音声に変換して出力します。*

***5** *接続している HDMI 対応機器が音声の著作権保護情報を処理できないとき(SACDに対応していないとき) は、SACD の音声は HDMI 出力端子から出力されません。*

***6** *自動 (DSD) に設定しているときは、SACD のアナログ音声が出力されません。*

HDMI 出力端子から出力される DVD オーディオ /SACD の音声について (DV-600AV のみ)

接続している HDMI 対応機器によって出力される音声は異なります。

接続しているHDMI対応機器が対応しているディスク/音声[*1]		製品例	再生するディスク		
			DVDオーディオ/SACD		SACD
			2ch音声	5.1ch音声	自動(DSD)
SACD	○	VSA-AX4ASi VSA-AX2AS	2ch音声が出力されます。	5.1ch音声が出力されます。[*2]	DSD 2ch/5.1ch音声が出力されます。
DVDオーディオ	○				
5.1ch音声	○				
2ch音声	○				
SACD	×	VSA-AX4AVi VSA-AX2AV	2ch音声が出力されます。	5.1ch音声が出力されます。[*2]	音声は出力されません。
DVDオーディオ	○				
5.1ch音声	○				
2ch音声	○				
SACD	×	PDP-506HD	2ch音声が出力されます。	左/右のみ、または2ch音声に変換して出力されます。[*3]	音声は出力されません。
DVDオーディオ	○				
5.1ch音声	×				
2ch音声	○				
SACD	×	PDP-505HDL PDP-505HDS PDP-435SX	音声は出力されません。[*4]	音声は出力されません。[*4]	音声は出力されません。
DVDオーディオ	×				
5.1ch音声	×				
2ch音声	×				

1** *接続している HDMI 対応機器が DVD オーディオ、SACD、5.1 音声、または SACD の DSD 音声に対応しているか確認してから* ***[HDMI 出力]（***P.38***）*の設定を変更してください。接続している HDMI 対応機器が DVD オーディオ /SACD に対応していない (音声の著作権情報を処理できない) ときは、DVD オーディオ /SACD の音声は HDMI 出力端子から出力されません。*

2** ***[HDMI 出力]（***P.38***）*を* ***[LPCM(2CH)]*** *に設定しているときは、DVD オーディオの 5.1ch 音声を 2ch 音声に変換して出力します。ただし、音声の変換を禁止しているディスクを再生したときはフロント左 / 右のみ出力します。SACD では、SACD の 2ch エリアが再生されます。*
また、本機の ***[HDMI 画素数]*** *を* ***[720 x 480i]***、*または* ***[720 x 480p]*** *に設定しているとき、接続している HDMI 対応機器によっては 2ch 音声で出力することがあります。*

***3** *音声の変換を禁止しているディスクを再生したときはフロント左 / 右のみ出力します。*

4** *本体表示窓に* ***[CPPM] *と表示されます (著作権保護(CPPM)されているDVDオーディオの音声はHDMI出力端子から音声が出力できません)。著作権保護されていないときは 2ch 音声を出力します。*

相手機器の対応 fs（サンプリング周波数）による DVD オーディオ出力例

接続機器の対応最大サンプリング周波数		コンテンツのオーディオフォーマット		
		44.1 kHz/48 kHz	88.2 kHz/96 kHz	176.4 kHz/192 kHz
接続機器	48 kfs	44.1 kHz/48 kHz	44.1 kHz/48 kHz[*1]	44.1 kHz/48 kHz[*1]
	96 kfs	44.1 kHz/48 kHz	88.2 kHz/96 kHz	44.1 kHz/48 kHz[*1]
	192 kfs	44.1 kHz/48 kHz	88.2 kHz/96 kHz	176.4 kHz/192 kHz

*1 対応するサンプリング周波数にダウンサンプルして出力します。

映像出力

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
テレビ画面 お使いのテレビに合わせてテレビ画面の縦横比を設定します。 接続したHDMI機器についても有効です。	● **4:3(レターボックス):** 従来サイズのテレビと接続して、16:9の映像をレターボックス方式(画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を再現する方式)で見たいとき。 ○ **4:3(パンスキャン):** 従来サイズのテレビと接続して、16:9の映像をパンスキャン方式(16:9の映像の左右をカットして4:3の画面全体に映し出す方式)で見たいとき。 ○ **16:9(ワイド):** ワイドテレビ(16:9)と接続したとき。 ○ **16:9(シュリンク)**：本機とテレビをHDMIケーブルで接続して、**[HDMI 画素数]** を **[1920 x 1080 p]**、**[1920 x 1080i]**、または **[1280x720p]** に設定しているときのみ選べます。16:9サイズのハイビジョンテレビで4:3の映像を正しく表示できます(テレビ画面の左右に黒い帯を付けて正しく表示します)。

お使いのテレビが従来サイズ(4:3)のとき 		お使いのテレビがワイドテレビ(16:9)のとき 	
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像  4:3の映像 	16:9(ワイド)	16:9の映像  4:3の映像 
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像  4:3の映像 	16:9(シュリンク)	16:9の映像  4:3の映像 

**ディスクが画面の比率(アスペクト比)の切り換えを許可しているときのみ設定が有効になります。ディスクのジャケットなどで確認してください。*

映像出力

●：工場出荷時の設定

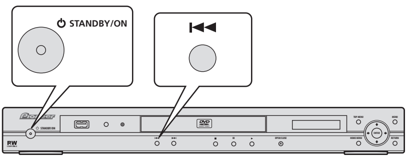
設定項目	設定内容
コンポーネント出力 コンポーネント映像出力端子、または D1/D2映像出力端子に出力される映像をインターレースかプログレッシブに設定します。	●**インターレース**：プログレッシブ映像信号に対応していないテレビまたはプロジェクターのとき。 ○**プログレッシブ**：プログレッシブ映像信号に対応しているテレビまたはプロジェクターのとき（本体表示窓の [PRGSVE] が点灯します）。 ➡[**プログレッシブ**]を選択して**決定ボタン**を押すと確認の画面が出ます。変更を行う場合は、**決定ボタン**を押してください。変更しない場合は、その他のボタンを押してください。

☑ **メモ**

- [**プログレッシブ**]と[**インターレース**]を切り換えるとき、映像が乱れることがあります。

☑ **注意**

- [**HDMI画素数**]を[720x480i] に設定していると、[**コンポーネント出力**]は強制的に [**インターレース**]になります。
- **誤って[プログレッシブ]を選択してしまったときは、下記の方法で[インターレース]に切り換えてください。**



1 本機を待機（スタンバイ）状態にする

電源が入っているときは、本体の前面部の⏻ **STANDBY/ONボタン**（またはリモコンの⏻**電源ボタン**）を押します。

2 ⏮ボタンを押しながら⏻ STANDBY/ONボタンを押す

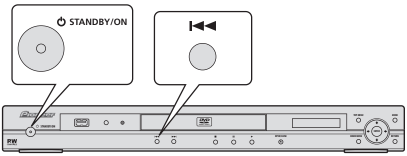
[**インターレース**]に切り換わり、映像が出力されます。

＊ **本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について**

現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機の出力をインターレースに切り換えてください。また、当社のプログレッシブ対応テレビと本機との互換性についてご質問のある場合は、当社のカスタマーサポートセンターへお問い合わせください（裏表紙）。

映像出力

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
HDMI 画素数 接続した HDMI 機器への映像解像度 (画素数) を変更する。  	○ 720 × 480 ピクセルのプログレッシブ映像 ● 720 × 480 ピクセルのインターレース映像 ○ 1280×720ピクセルのプログレッシブ映像 ○ 1920 × 1080 ピクセルのインターレース映像 ○ 1920 × 1080 ピクセルのプログレッシブ映像 から選ぶことができます。 画素数を切り換えて決定すると確認メッセージの画面が表示されますので、**[はい]** を選択してください。画素切り換え後テレビに正しく画面が出ない場合は、下記の操作を行って、画素数の設定を **[720 × 480p]** に戻してください。 **1 本機を待機(スタンバイ)状態にする** 電源が入っているときは、本体の前面部の⏻ **STANDBY/ONボタン**(またはリモコンの⏻ **電源ボタン**)を押します。 **2 ⏮ボタンを押しながら⏻ STANDBY/ONボタンを押す** ☑ **メモ** • 画素切り換え時は映像が乱れたり、出力に時間がかかる場合があります。
HDMI カラー 接続した HDMI 機器へのカラー出力の設定を変更する。	○**フルレンジ RGB**：より明るい白や深い黒を再現できます。画面の色再現が弱いときに設定します。 ○ **RGB**：フルレンジ RGB を設定したとき、白飛びや黒潰れが発生し色濃度が強すぎる場合に設定します。 ●**色差**：HDMI 機器の標準設定となるコンポーネントビデオ出力フォーマットにしたいとき設定します。

言語

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
音声言語 DVD ビデオの音声言語を変更します。	●**日本語 :** 日本語にするとき。 ○**英語 :** 英語にするとき。 ○**その他の言語 :➡P.50** ☑ **メモ** • ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。 • ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、リモコンの**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから音声の言語を選択してください。
字幕言語 DVD ビデオの字幕言語を変更します。	●**日本語 :** 日本語にするとき。 ○**英語 :** 英語にするとき。 ○**その他の言語 :➡P.50** ☑ **メモ** • ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。 • ディスクによっては、字幕の言語をディスクメニューを使用して選択するようになっています。このときは、リモコンの**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選択してください。
DVD メニュー言語 DVDビデオのディスクメニューに表示する言語を変更します。	●**字幕言語に連動：[字幕言語]** で選択されている言語でメニュー画面を表示するとき。 ○**日本語 :** 日本語でメニュー画面を表示するとき。 ○**英語**：英語でメニュー画面を表示するとき。 ○**その他の言語**：**➡P.50**
字幕表示 DVD ビデオの字幕を表示する / しないを設定します。	●**オン :** 字幕を表示するとき。 ○**オフ :** 字幕を表示しないとき。ただし、DVD ビデオの中には強制的に字幕を表示するディスクもあります。

表示

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
画面表示言語 テレビ画面の操作表示言語を設定します。	**●日本語**：操作表示言語を日本語にするとき。 ○ **English**: 操作表示言語を英語にするとき。
アングルマーク表示 アングルマーク（🎥）を表示する/しないを設定します。	**●オン**：テレビ画面に🎥マークを表示するとき。 ○**オフ**：テレビ画面に🎥マークを表示しないとき。

オプション

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
視聴制限 暴力シーンなどを含む DVDビデオには、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。	**◆暗証番号** **◆レベル変更** **◆国 / 地域コード** **➡ 暗証番号を登録するには** ① **[暗証番号]を選んで決定ボタンを押す** ② **数字(0〜9)ボタンで4桁の暗証番号を入力して、決定ボタンを押す** ☑ **メモ** ● 暗証番号はメモしておくことをお勧めします。 ● 暗証番号を忘れてしまったときは、本機を初期化して(**P.67**)、再度設定してください。 ● ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。 ● 視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。このとき、暗証番号を入力しないと再生することができません。 **➡ 暗証番号を変更するには** ① **[暗証番号変更] を選んで決定ボタンを押す** ② **数字 (0 〜9) ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定ボタンを押す** ③ **数字 (0 〜9) ボタンで新しい暗証番号を入力して、決定ボタンを押す**

オプション

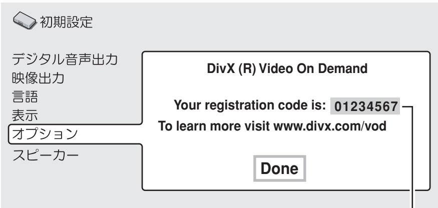
● : 工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
	➡ **レベルを変更するには** ① **[レベル変更]を選んで決定ボタンを押す** ② **数字(0〜9)ボタンで4桁の暗証番号を入力して、決定ボタンを押す** ③ **⬅➡ボタンでレベルを変更して、決定ボタンを押す** ➡ **国 / 地域コードを変更するには** 国/地域コード表(**P.51**)を見ながら操作してください。 ① **[国コード]を選んで決定ボタンを押す** ② **数字(0〜9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定ボタンを押す** ③ **⬆⬇ボタンで選び、決定ボタンを押す** ☑ **メモ** • 国/地域コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。
DVD 再生方式 (DV-600AVのみ) DVDビデオ と DVDオーディオ が1枚に収録されているディスクを再生するとき、どちらを再生するかを設定します。	● **DVD オーディオ：** DVDオーディオ (オーディオゾーン)を再生するとき。 ○ **DVD ビデオ：** DVDビデオ (ビデオゾーン)を再生するとき。 ☑ **メモ** • **[DVDビデオ]**を選択していても、本体の▲ **OPEN/CLOSEボタン**を押したり、電源を切ると、**[DVDオーディオ]**に戻ります。
SACD 再生 (DV-600AVのみ) SACD は、2チャンネルと5.1チャンネルのエリアが別々になっています。ハイブリッドSACDはSACD層とCD層の2層構造になっています。ここでは SACD の再生するエリアを切り換えます。	● **2ch エリア：** 2ch エリアを再生するとき。 ○ **マルチ ch エリア：** マルチ ch エリアを再生するとき。 ○ **CD エリア：** CD層を再生するとき。
DTS ダウンミックス DTS ダウンミックスの設定をします。	● **STEREO：** DTSのダウンミックス方法をステレオダウンミックスに設定するとき。通常のステレオ音声でお楽しみいただけます。 ○ **Lt/Rt:** DTSのダウンミックス方法をサラウンドダウンミックスに設定するとき。ドルビーサラウンドマトリックスと互換性のある音声です。サラウンド対応のアンプなどに接続することでサラウンド音声をお楽しみいただけます。

オプション

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
DivX VOD DivX VOD ファイルを本機で再生する場合、その DivX VOD ファイルの配信先に対して本機の登録コードが必要な場合があります。その場合は、Display で確認した登録コードをお使いください。	● Display ➡DivX VOD 登録コードを確認するには ① [DivX VOD]を選択して、➡ボタンを押します。 ② [Display]を選択して、決定ボタンを押します。



DV-600AV

登録コード

☑ メモ

- DivX VODファイルはDRMコピープロテクションがかかっており、登録されたプレーヤーでのみ再生することができます。
- 本機の登録コードが承認されていない DivX VODファイルを再生すると「Authorization Error」と表示され再生することができません。
- DivX VODファイルには視聴回数が設定されているものがあります。そのような DivX VOD ファイルを本機で再生すると残りの視聴回数がOSD画面に表示されます。残りの視聴回数が0のファイルを本機が読み込むと「Rental Expired」と表示され再生することができません。また、視聴回数の設定されていないDivX VOD ファイルについては、OSD画面には残りの視聴回数は表示されず、何度でも再生することができます。

スピーカー (DV-600AVのみ)

●：工場出荷時の設定

設定項目	設定内容
音声出力モード (DV-600AVのみ) 音声出力方法を選択します。	●**2チャンネル**：テレビなどのステレオ音声入力端子と本機の音声出力 (2ch) 端子を接続したとき。 ○**5.1 チャンネル**：AVアンプの 5.1 チャンネルアナログ音声入力端子などと本機の音声出力 (5.1ch) 端子を接続したとき。

☑ メモ

- **[2チャンネル]** を選択しているときは、ドルビーデジタル、DTS、またはMPEGのマルチチャンネル音声は2チャンネル音声にダウンミックスして出力されます。
- DVDオーディオ では、**[5.1チャンネル]**を選択しているとデジタル音声が出力されません。
- DVDオーディオ にはダウンミックスを禁止しているディスクがあります。そのときは、**[2チャンネル]** を選択していてもダウンミックスされません。また、ダウンミックスを禁止しているディスクではデジタル音声は出力されません。
- **[2チャンネル]** を選択しているときは、DTSマルチチャンネルのダウンミックス方法が選択できます。
- HDMI接続時は、接続している相手機器と再生ディスクによって、アナログのマルチチャンネル音声が出力されないことがあります。アナログのマルチチャンネル音声を楽しみたい場合は、**[HDMI出力]** を **[Off]** に設定してください(**P.38**)。

Q&A

Q1: デジタル音声が出力できない。

→ [デジタル出力]の設定で[オン]を選択してください(**P.36**)。DVDオーディオにはデジタル音声出力できないディスクがあります。また、SACDではHDMI対応のAVアンプなどと接続しているときのみデジタル音声を出力できます。

Q2: マルチチャンネル音声がデジタル出力できない。

→ DVD オーディオのマルチチャンネル音声はデジタル出力できません (ドルビーデジタル、またはDTS音声はデジタル出力できます)。マルチチャンネル音声をお楽しみいただくためには、アナログ音声出力端子(5.1ch)の接続をしてください。

Q3: 192 kHz/176.4 kHz音声がデジタル出力できない。

→ DVDオーディオの192 kHz/176.4 kHz音声はデジタル出力できません。96 kHz/88.2 kHz、または48 kHz/44.1 kHzに変換して出力されます。また、ディスクによってはデジタル出力できないことがあります。

■音声出力について

音声の種類		出力モード	音声出力(5.1CH)				デジタル出力	
			フロント左/右	センター	サラウンド左/右	サブウーファー	リニアPCM 変換する	リニアPCM 変換しない
DVD	ドルビーデジタル	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	2CHダウンミックス	ドルビーデジタル
		2CH	2CHダウンミックス	×	×	×	2CHダウンミックス	ドルビーデジタル
	ドルビーデジタルカラオケ	5.1CH	左/右	×	×	×	左/右	ドルビーデジタル
		2CH	左/右	×	×	×	左/右	ドルビーデジタル
	リニアPCM (DVDビデオ)	5.1CH	左/右	×	×	×	左/右	左/右
		2CH	左/右	×	×	×	左/右	左/右
	DVDオーディオ	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	×	×
		2CH	2CHダウンミックス *1	×	×	×	2CHダウンミックス *1	
	MPEG	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	左/右	MPEG
		2CH	左/右	×	×	×	左/右	MPEG
	DTS	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	2CHダウンミックス	DTS
		2CH	2CHダウンミックス	×	×	×	2CHダウンミックス	DTS
	DVD-RW (VR)	5.1/2CH	左/右 *3	×	×	×	左/右	ドルビーデジタル MPEG リニアPCM
SACD		5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	×	×
		2CH	2CHダウンミックス	×	×	×	×	×
CD		5.1/2CH	左/右	×	×	×	左/右	左/右
ビデオCD		5.1/2CH	左/右	×	×	×	左/右	左/右
DTS CD		5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	2CHダウンミックス	DTS
		2CH	2CHダウンミックス	×	×	×	2CHダウンミックス	DTS

*1 DVDオーディオでは、ダウンミックスを禁止しているディスクがあります。このときは、**[音声出力モード]**(**P.47**)を **[2 チャンネル]** に設定していてもダウンミックスされません。また、ダウンミックスを禁止しているディスクではデジタル音声は出力されません。

*2 超低域成分。

*3 出力モードが 5.1 ch のときは、モノラル素材はセンター出力のみとなります。

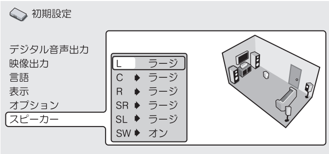
- 表の ▒ の部分は音声が出力されません。
- ディスクに一部のチャンネルが記録されていないときは、そのチャンネルから音声は出力されません。

●：工場出荷時の設定

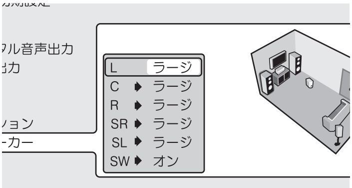
設定項目	設定内容

スピーカー設置 (DV-600AVのみ)

各スピーカーのサイズを設定します。



↓



➡ **スピーカーのサイズを設定するには**

① **[スピーカー設置] を選んで決定ボタンを押す**

② **⬆⬇ボタンでスピーカーを選び、➡ ボタンでカーソルを右に移動する**

③ **⬆⬇ ボタンで大きさ、または接続の有無を選択する**

●**ラージ：**大きいスピーカーに接続しているとき(目安としてコーンサイズ12 cm以上)。

○**スモール：**小さいスピーカーに接続しているとき(目安としてコーンサイズ12 cm未満)。

○**オフ：**接続していないとき。

○**オン：**サブウーファー(**SW**)を接続しているとき(**SW**では**[オン]**/**[オフ]**を設定します)。

④ **手順②～③を繰り返して、各スピーカーの設定をする**

⑤ **決定ボタンを押す**

[スピーカー設置]の画面が消えます。

☑ **メモ**

- **SW**(サブウーファー)を**[オン]**に設定しているときは、LFE(超低音の効果音)がサブウーファーから出力します。
- **L**(フロント左)/**R**(フロント右)スピーカーを **[スモール]** に設定すると、**SR**(サラウンド右)/**SL**(サラウンド左)と **C**(センター)スピーカーの大きさは自動的に **[スモール]** に設定されます。また、**SW**(サブウーファー)は **[オン]** に設定されます。

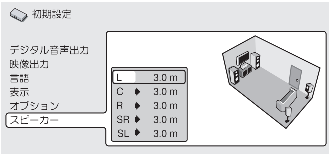
スピーカー

●：工場出荷時の設定

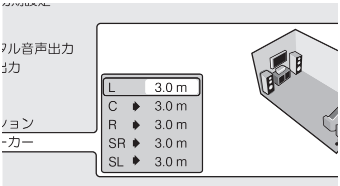
設定項目	設定内容

スピーカー距離補正 (DV-600AVのみ)

リスニングポジションからスピーカーまでの距離を設定します。



↓



➡ スピーカーまでの距離を設定するには

① **[スピーカー距離補正] を選んで決定ボタンを押す**

② **⬆⬇ボタンでスピーカーを選び、➡ ボタンでカーソルを右に移動する**

③ **⬆⬇ボタンで距離を設定する**

設定できる範囲は以下のとおりです。
L：0.3 m〜9 m
R：0.3 m〜9 m
C：L/Rの距離から－2.1 m〜0 m
SL：L/Rの距離から－6.0 m〜0 m
SR：L/Rの距離から－6.0 m〜0 m

④ **手順2〜3を繰り返して、各スピーカーの距離を設定をする**

⑤ **決定ボタンを押す**

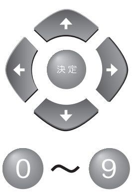
[スピーカー距離補正]の画面が消えます。

☑ **メモ**

- 5.1チャンネル再生では、スピーカーの距離の設定はすべてのスピーカーは同一サイズ、リスニングポジションから等距離にあることが理想です。それが不可能な場合、各スピーカーにディレイタイム(遅延時間)を設定することで、仮想的に理想の視聴空間を実現します。
- **SW**(サブウーファー) の距離を調整することはできません。
- DVDビデオ の MPEG 音声、または SACD の再生中は、**[C]**、**[SL]**、**[SR]**の距離補正の上限が－0.9 mになります。

■言語の設定で [その他の言語] を選んだとき

言語コード表 (**P.51**) にある 136 言語の中から選ぶことができます。DVD に収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。



1 [その他の言語] を選択して、決定ボタンを押す

2 ⬅➡ ボタンを使って [言語表] または [コード]を選択する

言語によってはコード番号しか表示されないものがあります。詳しくは言語コード表(**P.51**)をご覧ください。

3 ⬆⬇ ボタンまたは数字ボタンを使って言語コードを入力し、決定ボタンを押す

言語/国/地域コード表

言語コード表

言語名 (言語コード), 入力コード

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Volof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国 / 地域コード表

国 / 地域名 , 入力コード , 国 / 地域コード

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。商品のお取り扱いについてのご不明な点は、お買い求めの販売店様、または裏表紙に記載されているカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。また本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AV アンプ、またはスピーカーなどもあわせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、修理受付センター、またはお買い求めの販売店様にお問い合わせください。また、弊社ホームページにも本機の取り扱いについての Q&A を掲載していますので、あわせてご覧ください。**http://pioneer.jp/support/product/dvdld.html**

症状	原因 / 対策	参照ページ
設定した内容が消えてしまった。	本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず本体の ⏻ **STANDBY/ON ボタン**、またはリモコンの ⏻ **電源ボタン**を押して、表示窓の **[-OFF-]** 表示が消えてから抜いてください。特に他機器の AC アウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに直接接続することをおすすめします。	
DTS 音声が出力されない。	● 本機とDTS音声に対応していないアンプ、またはデコーダーをデジタル音声ケーブルで接続しているときは **[DTS 出力]** を **[DTS > PCM]** に設定してください。ノイズが発生することがあります。	**37**
	● DTS 音声対応アンプ、またはデコーダーと接続しているときはアンプの設定を確認してください。また、デジタル音声ケーブルが正しく接続しているか確認してください。	**32**
音が歪んでしまう。スピーカーから音が出ない。	● 音声ケーブルのプラグが十分差し込まれていますか？	**8, 31-32**
	● 接続している音声ケーブルが断線していませんか？	
	● 音声ケーブルのプラグや本機の音声出力端子、または接続したテレビや AV アンプなどの音声入力端子が汚れていたら、汚れを拭き取ってください。	
	● デジタル接続しているときは **[デジタル出力]** を **[オン]** に設定してください。	**36**
	● **[デジタル音声出力]** の設定により、音が出ないことがあります。	**36**
	● ディスクが汚れていませんか？	
	● 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか？	**13, 16, 17**
	● 接続したテレビや AV アンプなどの音量が最小になっていませんか？ AV アンプに接続したときは入力切換、およびスピーカーの設定を確認してください。	
	● アンプの PHONO 端子には接続しないでください。	

症状	原因 / 対策	参照ページ
映像が映らない。	● 映像ケーブルのプラグが十分差し込まれていますか？ ● 接続している映像ケーブルが断線していませんか？ ● AV アンプなどに映像出力端子を接続したときは、AV アンプの入力を接続している機器に設定してください（たとえば DVD など）。	
画面が縦または横に伸びている。	● 接続したテレビに合わせて**[テレビ画面]**の設定をしてください。 ● S2映像出力に対応していないテレビにS映像ケーブルで接続すると、正常な映像が表示されない場合があります。その場合は、S 映像ケーブル以外で接続してください。	**40**
DVD と CD で音量差を感じる。	ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。	
DVD 再生中に映像が乱れる、または暗い。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクを再生したとき、テレビによっては画像の一部に横しまが入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	**8**
DVD 映像を VTR に録画したり、VTR を通して再生すると再生画面が乱れる。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクを VTR を通して、または VTR に録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	**8**
本機をビデオ内蔵テレビに接続して DVD を再生すると映像が乱れる。	ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。	
テレビなどが誤動作する。	ワイヤレスリモコン機能を持つテレビが、本機のリモコン信号により誤動作することがあります。本機と離して設置してご使用ください。	
DVD オーディオを再生すると途中で停止してしまう。	違法に複製されたディスクの可能性があります。	
スピーカーからマルチチャンネル音声が出力されない。	● **[音声出力モード]** の設定で**[5.1チャンネル]**を選択してください。 ● **[スピーカー設置]**の設定を行ってください。 ● ディスクのメニュー、またはリモコンの**音声ボタン**でディスクの音声をマルチチャンネルに切り換えてください。	**47** **49**
デジタル音声が出力できない。	● **[デジタル出力]** の設定で **[オン]** を選択してください。 ● DVD オーディオにはデジタル音声を出力できないディスクがあります。 ● SACD のデジタル音声はHDMI 対応のAVアンプと接続しているときのみ出力できます。	**36**

症状	原因 / 対策	参照ページ
マルチチャンネル音声がデジタル出力できない。	DVDオーディオのマルチチャンネル音声はデジタル出力できません (ドルビーデジタル、または DTS 音声はデジタル出力できます)。マルチチャンネル音声をお楽しみいただくためには、アナログ音声出力端子 (5.1ch) の接続をしてください。	**32**
192 kHz/176.4 kHz 音声がデジタル出力できない。	DVD オーディオの 192 kHz/176.4 kHz音声はデジタル出力できません。96 kHz/88.2 kHz、または 48 kHz/44.1 kHzに変換して出力されます。また、ディスクによってはデジタル出力できないことがあります。	**37**
96 kHz/88.2 kHz音声でデジタル出力できない。	• **[リニアPCM出力]**/**[96 kHz PCM出力]**の設定で**[ダウンサンプル オン]**/**[96 kHz > 48 kHz]** が選択されていないか確認してください。 • 著作権保護がされているディスクでは 96 kHz/88.2 kHz 音声のデジタル出力が禁止されています。	**37**
画面が止まり、本体やリモコンのボタン操作を受け付けなくなってしまった。	本体の ⏻ **STANDBY/ON ボタン**を約 10 秒間押すと、強制的に電源が切れます。再度電源を入れて、ご使用ください。	
勝手に電源が切れる。	ディスクを再生していないときに約 30 分間、本体またはリモコンの操作をしないと、電源が自動的にスタンバイ状態になります (オートパワーオフ機能)。再度電源を入れてください。	

■ HDMI 関係

症状	原因 / 対策	参照ページ
HDMI に接続したが、本体前面のHDMIインジケーターが赤く点灯しない。	• 本機はHDMI機器との接続を目的として設計されています。DVI 機器との接続では正常に映像が出ない可能性があります。 • 接続したHDMIの入力切り換えを本機に合わせてください。	
接続した HDMI から映像が映らない。	• DVI 機器と接続していませんか？DVI 機器との接続では正常に映像が出ない可能性があります。 • お手持ちの受像機が対応していない画素に切り換えていませんか？ **[HDMI画素数]** を合わせてください。どうしても画像が出力されない場合は、本機がスタンバイ状態の時に、⏮ **ボタン**を押しながら、⏻ **STANDBY/ON** を押してください。画素数の設定が **[720 × 480P]** に戻ります。	**42**
HDMI接続しているとき音声出力(5.1 ch)端子から音声が出力されない。	• **[HDMI出力]**が**[オフ]**に設定されているか確認してください。	
HDMI 出力端子からマルチチャンネル音声が出力できない。	• **[HDMI 出力]** を **[自動]**、**[自動 (DSD)]**、または **[LPCM(5.1CH)]** に設定してください。	**38, 39**

症状	原因 / 対策	参照ページ
接続した HDMI から音声が出ない。	● 接続機器がDVDオーディオに対応していない場合、CPPM入りのDVD オーディオの音声は HDMI出力しません。 ● **[HDMI出力]**が**[オン]**に設定されているか確認してください。 ● 接続機器が SACD の DSD 音声に対応していない場合、DSD 音声は HDMI 出力しません	
HDMI カラーを切り換えたときに、色が正しく映らない。	● モニターの入力設定を切り換えてください。 ● **[HDMI カラー]** を変更前に戻してください。	**42**
[コンポーネント出力] が[インターレース] に設定できない。	● **[HDMI 画素数]** を **[720 × 480i]** に設定すると **[インターレース]** に設定できます。	

■ USB 関係

症状	原因 / 対策	参照ページ
USB マスストレージ機器を認識しない。	● 一度電源を切ってから、再度電源を入れてみてください。 ● USBメモリーは正しく接続されていますか？USB端子に正しく挿入してください。 ● USB メモリーのフォーマットは FAT16、FAT32 に対応していますか？フォーマットをご確認ください。 ● USB ハブには対応しておりません。	
USB メモリー再生中に正しい表示を行わない。	● USBメモリーのファイル名に日本語が含まれていませんか？日本語の表示には対応していません。 ● USBメモリーのデータにセキュリティが施されていませんか？暗号化やパスワードでの保護がされていないかご確認ください。	
USB メモリーのファイルを再生することができない。	● ファイルに DRM コピープロテクト（著作権保護）がかかっていませんか？ DRM コピープロテクト（著作権保護）のかかった WMA や MPEG-4 AAC のファイルは再生することができません。パソコンなどで CD などの音楽データを取り込む場合、設定によっては著作権保護がかかることがあります。	
USB 機器の読み込みに時間がかかる。	● 容量の大きいUSB機器を接続したとき、容量によっては読み込みに時間がかかります。大容量のときは読み込みに数分かかることもあります。	

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、修理受付センターまたはお買い求めの販売店様にご相談ください。

再生できるディスクについて

DVD の再生について

- 本機はDVD ビデオフォーマット、またはVR モードで記録されたファイナライズ済のDVD-R、DVD-RW、および DVD-R DL を再生できます。
- 本機は DVD ビデオフォーマットで記録された DVD+R、DVD+RW、および DVD+R DL を再生できます。ただし、ファイナライズされていないディスクは再生できません。また、録画時の編集内容どおりには再生されないことがあります。
- 本機はMP3、WMA、MPEG-4 AAC、DivX、WMV、または JPEGが記録された DVD-R/-RW、および DVD+R/+RW は再生できません。
- UDF(ユニバーサルディスクフォーマット) に準拠して記録したディスクを使用してください。
- DVDレコーダーで編集 (シーン消去など) をした箇所を再生すると、そのつなぎ目で一瞬映像が止まります。これは故障ではありません。

※ DVD ビデオフォーマット、および VR モードについては **P.64, 65**、または DVD レコーダーの取扱説明書をご覧ください。VR モードで記録できるディスクは DVD-R/-RW/-R DL だけです。また、VR モードで記録された DVD-RW を本機にセットすると「DVD VR」と表示されます。

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

- 本機は音楽 CD フォーマット、ビデオ CD フォーマット、WMA/MP3/MPEG-4 AAC の音楽データ、JPEG の静止画像、または DivX/WMV の動画が記録されたCD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。ただし、ディスクよっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起こることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RW ディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RW ディスクを再生することはできません。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

DualDisc の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- DVD面ではないオーディオ面は一般的なCDの物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
- 「DualDisc」の DVD の面は再生可能です。
- DVD オーディオは再生できません。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

WMA の再生について

- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- WMA とは、「Windows Media Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、または Windows Media® Player 9 Seriesを使用してエンコードすることができます。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット (Joliet、Romeo) に準拠して記録したディスクを使用してください。
- サンプリング周波数 32 kHz、44.1 kHz、または48 kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは **[このフォーマットは再生できません]** と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR:Variable Bit Rate)、またはロスレスエンコーディング (loss-less encoding) には対応していません。
- 「.wma」、または「.WMA」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション (**P.64**) には対応していません。
- DRM コピープロテクトのかかった WMA ファイルは再生できません。

- WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation の認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

WMV について

- WMV とは、「Windows Media Video」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された映像 / 音声圧縮技術です。本機は Windows Media® Player 9 Series でエンコードされた WMV9 ファイルに対応しています。
- 拡張子「.wmv」の付いたファイル、および解像度が 720 × 480 ピクセルまでのファイルを再生できます。
- Advanced Profile には対応していません。
- DRM コピープロテクトのかかった WMV ファイルは再生できません。

MP3 の再生について

- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- MPEG1 オーディオレイヤー３のサンプリング周波数32 kHz、44.1 kHz、または48 kHz で記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは **[このフォーマットは再生できません]** と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート (VBR:Variable Bit Rate) には対応していません (再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついた MP3 ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション (**P.64**) には対応していません。
- 音質的には、記録ビットレート 128 kbps 以上をお勧めします。

MPEG-4 AAC について

- AAC とは「Advanced Audio Coding」の略です。MPEG-2 および MPEG-4 で使用される音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。
- 本機では、iTunes® を使用してエンコードされた、拡張子が「.m4a」の AAC ファイルの再生に対応しています。ただし、DRM コピープロテクト（著作権保護）のかかったファイルやエンコードする iTunes のバージョンによっては再生できないことがあります。
  - iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

JPEG の再生について

- JPEG とは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式 (画像フォーマット) のひとつです。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステムおよび拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 本機では、フジカラー CD、コダックピクチャーCD、またはCD-R/CD-RW/CD-ROM に記録されている JEPG ファイルを再生することができます (記録方法などによって再生できないこともあります)。
- 総ピクセル数が 3072X2048 ピクセル以下のベースラインJPEGファイル、および Exif 2.2*(**P.64**) に準拠した JPEG ファイルの静止画再生に対応しています。
- 「.jpg」、または「.JPG」という拡張子がついた JPEG ファイルの静止画像を表示することができます。
- プログレッシブ JPEG には対応していません。
- ファイルサイズが大きいファイルは、画像の再生に時間がかかることがあります。

* *デジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格 (Exif)Ver2.2、JEIDA-49-1998 (社) 電子情報技術産業協会 JEITA*

DivX の再生について

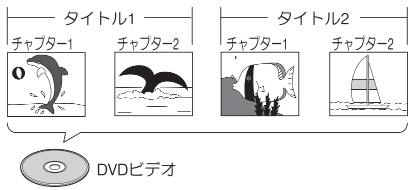
- DivX® Ultra Certified 製品。
- DivX は、DivX, Inc. が開発したメディア技術です。DivX のメディアファイルには、画像データが含まれます。また、DivXファイルはメニューや複数の字幕、音声の切り換えといった高度な再生機能を付けることも可能です。
- 本機では CD-R/-RW/-ROM ディスクに記録されたDivXファイルを再生することができます。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 本取扱説明書では、それぞれの DivX ファイルを DVD に合わせて「タイトル」と呼びます。DivXファイルはタイトルのアルファベット順に再生されますので、CD-R/-RW に記録する際はタイトル名の付け方にご注意ください。
- DivX® メディアファイルと DivX® Media Format の高度な再生機能が付いている DivX® ビデオを再生 (DivX® 6 も含むすべてのバージョンに対応)。
- 「.avi」または「.divx」という拡張子が付いた DivX ファイルのみ再生することができます。また本機では、「.avi」という拡張子は MPEG4 として認識しますが、MPEG4 の中でも DivX ファイルでない場合があります。その場合は本機では再生できない可能性がありますのでご注意ください。
- DivX、DivX Ultra Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。

☑ 注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/-RW/-R DL ディスク、CD-R/-RWディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- ファイナライズしていないDVD-R/-RW/-R DLディスク、CD-R/-RWディスクを再生することはできません。

タイトルとチャプターについて

- DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています（DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません）。
- DVDビデオの映画ソフトなどでは、ふつう1つの映画が 1 つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。



トラックについて

- CDやビデオCDでは、ディスクをトラックという単位で分けています（一般的には、1 曲が 1 つのトラックに対応しています。またさらに、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります）。

DVD オーディオのグループとトラックについて

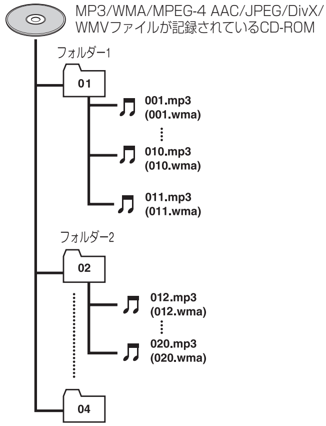
- ディスクをグループという単位で分け、さらにグループをトラックという単位で分けています。一般的には 1 曲が 1 つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。DVDビデオのようにメニューや映像などが収録されているディスクもあります。

ビデオ CD/SACD/CD のトラックについて

- ディスクをトラックという単位で分けています。一般的には 1 曲が 1 つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。

WMA/MP3/MPEG-4 AAC/DivX/WMV/JPEG について

- フォルダー名は、1 枚のディスクで最大 299 フォルダーまで認識することができます。トラック名、ファイル名は、アルファベット順に 1 フォルダー内に合計 648 まで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラック、ファイルを認識・再生できない場合があります。
- WMA/MP3/MPEG-4 AAC のフォルダー/トラックの名前や、JPEG/DivX/WMV のフォルダー/ ファイルの名前を表示することができます。ただし、本機は半角英数字以外の文字には対応していません。半角英数字以外で入力されたフォルダー/ トラック / ファイル名は文字化けしたり、[F_001]/[T_001]/[FL_001]のように表示されることがあります。



その他

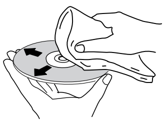
ディスクの取り扱いかた

保管

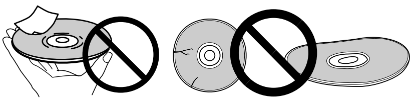
- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付くと、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。

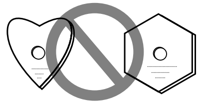


- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク（ひびや反りのあるディスク）は使用しないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れをつけないでください。
- ディスクに紙やラベル用シールなどを貼り付けないでください。ディスクが反って、不具合が発生する恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを2枚重ねて再生しないでください。



特殊な形のディスクについて

- 本機では、丸いディスクのみ再生できます。特殊な形のディスク（ハート型や六角形など）は故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。



レンズのクリーニングについて

- レンズにゴミやホコリがたまると、音とびしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、『**保証とアフターサービス**』(**P.66**) をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

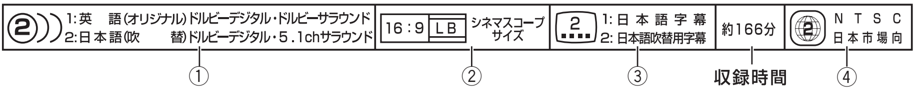
ディスクの結露について

- 冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります（結露）。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

DVDのディスクジャケットの表記について

DVDビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは、DVD ビデオのディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。

DVD ビデオ (DVD-VIDEO) のディスクジャケットの例



① ディスクに記録されている**音声の数と種類・音声トラック方式**を示しています（音声の切り換えは **P.27, 43** をご覧ください)。

上記の場合、テレビにつないでいるときには、英語・日本語共に通常のステレオ音声として再生しますが、ドルビーデジタル対応のアンプをデジタル音声出力につないでいるときには、英語の場合はドルビーサラウンドで、日本語の場合は 5.1 ch サラウンドで再生されます。

② 再生可能な**テレビ画面サイズや見えかた**を示しています。このディスクの場合、16：9の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されており、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます (**P.40**)。

③ ディスクに記録されている字幕の数と言語などの種類を示しています(字幕の切り換えは**P.27, 43** をご覧ください)。

DVD ビデオでは最大 32 種類の字幕を記録することができます。

④ ディスクの **地域番号 (リージョンナンバー)** です。

DVD プレーヤーと DVD ビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号 (リージョンナンバー) が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機 (日本向け) の再生可能地域番号は 2 番で、ディスクに記載された地域番号が2 番を含むか「ALL」となっている場合に再生が可能です。

その他のマーク

舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVD ビデオでは、最大 9 つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いた DVD ビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます (**P.25**)。

☑ **メモ**

- DVDビデオの音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニアPCM」の3つが現在主流となっています。

*ドルビー * デジタルとは*

DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在主流となっている 5.1 ch サラウンドで記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル (5.1 ch サラウンド) で記録されているソフトとは、5 つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことをいいます。本機をドルビーデジタル対応の AV アンプなどとデジタル接続してこのソフトを再生すると、臨場感あふれるマルチチャンネル再生をお楽しみいただくことができます。

*DTS** とは*

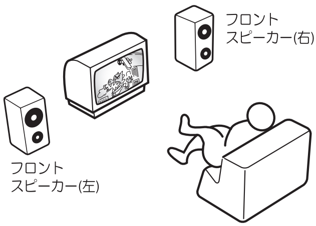
DTS とは DTS 社の 5.1 ch デジタル･サラウンド録音再生方式のことです。これは最新のサラウンド方式で、DVD ビデオのオプション音声タイプとして認められています。本機を DTS 対応の AV アンプなどとデジタル接続すると、DTS デジタル・サラウンドで記録された DVD ソフトも、ドルビーデジタル (5.1 ch サラウンド) で記録されているソフトと同様に 5.1 ch で音声を楽しむことができます。

リニア PCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録した DVD ビデオの場合によく使われます。48 kHz/16 bit、96 kHz などの表示があることもあります。

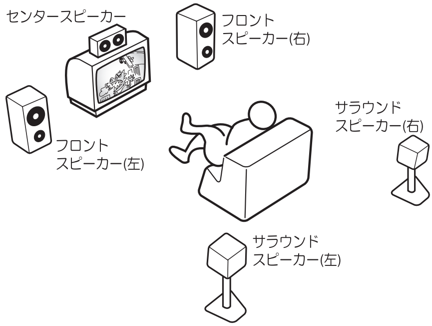
・ **ステレオ再生とは**

左右2つのスピーカーから別々の音声を再生することです。DVDビデオのステレオ音声や通常の音楽用CD(ステレオ2 chで録音されています)は､5本のスピーカーとサブウーファーが接続されていても、音はフロントスピーカーからしか再生されません。



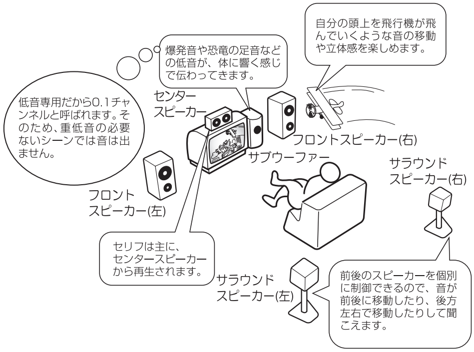
・ **ドルビーサラウンド再生とは**

ソフトのパッケージに ドルビーサラウンド (DOLBY SURROUND) と表記されているソフトを、5 本のスピーカーで再生することです。ただし、サラウンドスピーカーは左右同じ音 (モノラル) で再生されます。



・ **ドルビーデジタル 5.1 ch または DTS サラウンド再生とは**

ドルビーデジタル (5.1 ch サラウンド) または DTS サラウンドで記録されているソフトを、5 本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ別々の音で再生することです。5.1 ch 独立で音声が記録されているため、立体感のある音場で臨場感あふれる音声が楽しめます。



* *ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。*

***"DTS" および "DTS Surround " は、DTS 社の登録商標です。*

"DTS" は、DTS 社の登録商標です。 "DTS 2.0 + Digital Out"は､DTS社の商標です。

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは 4：3 ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは 16：9 の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

インターレース (飛び越し走査)
映像の 1 画面を半分ずつ 2 回に分けて描きます。 最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて 1 画面 (フレーム) を表示します。 従来のテレビの走査方式として採用されています。 通常、解像度の数字の後ろに「i」を付けて (525i など) 表記します。

映像出力 (コンポジット)
輝度信号 (Y) と色信号 (C) を混合して 1 本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号 (Y) と色信号 (C) を分離しなければなりません。この輝度信号 (Y) と色信号 (C) を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

コンポーネント映像出力
Y、CB/PB、CR/PR の 3 つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、より美しい映像が得られる映像出力です。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDビデオの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。 ダイナミックレンジは、デシベル (dB) 単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する(オーディオDRC)と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です（アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります)。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高 / 標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ (順次走査)
映像の 1 画面を 2 回に分けずに 1 画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像を楽しめます。通常、解像度の数字の後ろに「p」を付けて (525pなど) 表記します。

ボーナスグループ
DVD オーディオでは、4 桁の番号 (キーナンバー) を入力することによってアクセス可能となる、「ボーナスグループ」とよばれるグループが存在するディスクがあります。ボーナスグループを再生しようとすると入力画面が自動的に現れるので、ディスクのパッケージやディスクジャケットに示してあるキーナンバーを入力すると再生が開始されます。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1 つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っていますので、視聴者側で視点 (カメラ) を選ぶことはできません。DVD ビデオには、同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を自由に選ぶことができます。DVD ビデオではアングルを最大 9 つまで記録することができます。

マルチ音声言語
DVD ビデオの中には、1 枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVD ビデオでは音声を最大 8 言語 (8ストリーム) まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語 (サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVD ビデオでは字幕の言語を最大 32 カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション
CD-R や CD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1 枚のディスクに 2 つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン No.
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクは発売地域ごとに地域番号 (リージョンNo.) が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョン No. は「2」です (本体後面部に表記されています)。

D 端子
デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号 (Y、C_B/P_B、C_R/P_R) と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を 1 つのコネクタで接続する端子です。

DivX
DivX は、DivX, Inc. が開発したメディア技術です。DivX のメディアファイルには画像データが含まれます。また、DivX ファイルはメニューや複数の字幕、音声の切り換えといった高度な再生機能を付けることも可能です。

DSD
DSD は、(Direct Stream Digital) の略です。DSD 方式は音声信号の大小を 1 ビットのデジタルパルスの密度 (濃淡) で表現します。

DVD オーディオ / ビデオの静止画
DVD には、音声や動画だけでなく静止画が入っている場合があります。DVD オーディオの静止画には 2 種類あります。
スライドショーは、ディスクの設定に従って自動的に静止画が切り換わります。
ブラウザブル静止画は、プレーヤーの操作で好きな静止画を選択して再生することができます。また、ブラウザブル静止画では、その静止画の番号「ページ」を指定して見たい静止画を探すこともできます。なお、DVD ビデオの静止画はスライドショーのみです。

DVD ビデオフォーマット記録
、または マークの付いている市販の DVDビデオディスクと同じ方式 (フォーマット) で DVD-R/-RW/-R DL ディスクに一筆書きのように記録することをいいます。パイオニアの DVD レコーダーではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、高画質で録画するモードと、長時間録画するモードがあります。

Exif
Exchangeable Image File Format の略でエグジフと読みます。富士フイルム (株) が開発したデジタルスチルカメラ用のファイルフォーマットです (JEIDA 規格)。撮影日などの、撮影や画像に関する情報とサムネイル画像が収録できるように拡張されているファイルフォーマットです。

GUI
Graphical User Interface の略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

HDMI

HDMIは、High-Definition Multimedia Interfaceの略です。PC用ディスプレイなどで使用されているDVI(Digital Video Interface)を拡張した、次世代テレビ向けのデジタルインターフェイス規格で、非圧縮のデジタル映像とデジタルオーディオ(ドルビーデジタル、DTS、MPEG といったオーディオストリームやリニア PCM)、または DSD 音声の伝送が 1 つのコネクタで行えます。このため映像と音声を別々のケーブルで接続する必要がなく、小型のコネクタケーブル 1 本での接続が可能になりました。また著作権保護技術であるデジタル画像信号の暗号化方式である HDCP にも対応しています。

HDMI、HDMI ロゴ及び High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標文または商標登録です。

JPEG

JPEG とは、ITU-TS(国際電気通信連合 : 旧 CCITT) と ISO(国際標準化機構) で定められた、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式 (画像フォーマット) のひとつです。JPEG 形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子がつきます。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

MP3

MP3 とは、MPEG1 オーディオレイヤー 3 というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ピリオドと 3 文字のアルファベットで構成されています。

MPEG

Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVD ビデオの映像やビデオ CD の映像 / 音声は、この方式で記録されています。DVD ビデオの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

MPEG-4 AAC

AAC とは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2 および MPEG-4 で使用される音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。
本機では、iTunes® を使用してエンコードされた、拡張子が「.m4a」の AAC ファイルの再生に対応しています。ただし、DRM コピープロテクト（著作権保護）のかかったファイルやエンコードする iTunes のバージョンによっては再生できないことがあります。
iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

SACD

CD の規格をベースに、より多くのデータが記録された高音質ピュアオーディオ規格です。SACD には 1 層ディスク、2 層ディスクとハイブリッドディスクの 3 種類があります。ハイブリッドディスクは、SACD と CD の両方の構造を持ちあわせています。

VR モード
(ビデオレコーディングフォーマット) 記録

映像、および音声信号を DVDレコーダーで DVD-R/-RW/-R DL ディスクの不特定な位置に即時書き込み * することをいいます。(* 即時書き込み＝パソコンでは、入力されたデータをすぐにハードディスク(リムーバブルメディア)に書き込まず、一度メモリーに記憶します。その後、CPU(OS) が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます。)
パイオニアの DVDレコーダーではこれをVRモード記録といいます。VR モードには、標準的な画質で録画するモードと、画質および録画時間を自由に設定して録画するモードがあります。

WMA

「Windows Media® Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、または Windows Media® Player 9 Series を使用してエンコードすることができます。
WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

WMV

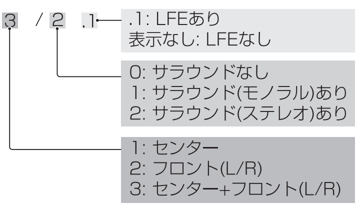
WMV とは、「Windows Media Video」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された映像/音声圧縮技術です。本機は Windows Media® Player 9 Series でエンコードされた WMV9 ファイルに対応しています。拡張子「.wmv」の付いたファイル、および解像度が720 ×480ピクセルまでのファイルを再生できます。Advanced Profile には対応していません。また、DRM コピープロテクトのかかったWMVファイルは再生できません。

3/2.1CH

3/2.1 はディスクに記録されているチャンネル数を表しています。
例）5.1CH の場合
- フロントチャンネル [L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル [(1CH)]
- サラウンドチャンネル [L(1CH)/R(1CH)]
- LFE*1 チャンネル [1CH×0.1*2 ＝0.1CH]

*1 重低音強調効果の意
*2 音声全体に対して低音が占める割合

GUI 画面には下記のように表示されます。



保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付センター、またはお買い求めの販売店様にご相談ください。

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

裏表紙に記載の修理受付センター、またはお買い求めの販売店様にご連絡ください。
本品は持ち込み修理対応製品です。
故障して修理をお受けになる場合は、パイオニアサービス窓口またはお買い求めの販売店様に製品と保証書を持参してお申し付けください。
尚、お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張修理代は、有料とさせて頂きます。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名:DVD プレーヤー
- 型番：DV-600AV/DV-400V
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作（使用したディスクも）で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

*本機では、画面表示に NEC のフォント「Font Avenue」を使用しています。
FontAvenue は NEC の登録商標です。*

使用上のご注意

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの近くの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物を載せない

本機の上に物を載せないでください。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上に載せないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに本体の ⏻ **STANDBY/ON ボタン**（またはリモコンの ⏻ **電源ボタン**）を押し、表示窓の **[-OFF-]** 表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

製品のお手入れについて

- 本体は通常、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

結露について

- 冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて 1 ～ 2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
  夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

初期化する

- 設定した内容をすべて出荷時の状態に戻すことができます（初期化）。初期化すると、記憶していたすべての設定が同時に消去されます。初期化する際は十分にご注意ください。

1. 本機を待機（スタンバイ）状態にする。
   電源が入っているときは、⏻ **STANDBY/ON ボタン**を押します。
2. **■ ボタン**を押しながら、⏻ **STANDBY/ON ボタン**を押す。
   設定した内容がすべて出荷時の状態に戻ります。

仕様

電源 .... AC100 V、50 Hz/60 Hz

消費電力
DV-600AV .... 8 W/0.7 W(待機時)
DV-400V .... 7 W/0.7 W(待機時)

本体質量 .... 1.8 kg

外形寸法
DV-600AV
............420 mm × 49.5 mm × 215.5 mm
(幅)×(高さ)×(奥行)
DV-400V
................420 mm × 49.5 mm × 216 mm
(幅)×(高さ)×(奥行)

許容動作温度 ....+ 5 ℃～+ 35 ℃

許容動作湿度
........................5 %～ 85 %(結露のないこと)

S2 映像出力
Y 出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)
C 出力レベル ....286 mVp-p(75 Ω)
出力端子 ....S 端子

映像出力
出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)
出力端子 ....RCA 端子

コンポーネント映像出力 (Y、CB/PB、CR/PR)
Y 出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)
CB/PB、CR/PR 出力レベル0.7 Vp-p(75 Ω)
出力端子 ....RCA 端子

D1/D2 映像出力(Y、CB/PB、CR/PR)
Y 出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)
CB/PB、CR/PR 出力レベル
.... 0.7 Vp-p(75 Ω)
出力端子 .... D 端子

HDMI 出力
出力端子 .... 19 ピン

音声出力 (2ch)
音声出力レベル
..................200 mVrms(1 kHz、− 20 dB)
出力端子 ....RCA 端子ステレオ 2 系統
周波数特性.............................. 4 Hz ～ 44 kHz
S/N 比 .... 115 dB
ダイナミックレンジ
DV-600AV .... 100 dB
DV-400V .... 88 dB
全高調波歪率
DV-600AV ....0.0023 %
DV-400V ....0.0065 %
ワウ・フラッター......................... 測定限界以下
(± 0.001 %W.PEAK)(JAITA)

音声出力 (マルチチャンネル:フロント L/R、サラウンド L/R、センター、サブウーファー) (DV-600AV のみ)
音声出力レベル
..................200 mVrms(1 kHz、− 20 dB)
出力端子 ....RCA 端子

デジタル音声出力
光デジタル出力......................... 光デジタル端子
同軸デジタル出力...............................RCA 端子

付属品
オーディオ・ビデオコード 1
リモコン 1
単 3 形乾電池 2
取扱説明書 (本書)・保証書........................ 各 1
DVD プレーヤーかんたんガイド 1

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

索引

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

わ行

アルファベット

数字

サービス拠点のご案内

パイオニア製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理についてはお買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合は、窓口 (裏表紙) へご相談くださるようお願いいたします。

●北海道地区

受付　月〜金　9:30〜18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30〜12:00、13:00〜18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	住所
☆札幌サービスセンター	FAX　011-611-5694	〒064-0822　札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX　0166-55-7207	〒070-0831　旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX　0155-23-7757	〒080-0015　帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX　0138-40-6473	〒041-0811　函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月〜金　9:30〜18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30〜12:00、13:00〜18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	住所
☆仙台サービスセンター	FAX　022-375-4996	〒981-3121　仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX　023-615-1627	〒990-0023　山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX　024-991-7466	〒963-8861　郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX　019-659-1895	〒020-0051　盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX　017-735-2438	〒030-0821　青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX　0178-44-3351	〒031-0802　八戸市小中野4-3-34
秋田サービス認定店	FAX　018-869-7401	〒010-0802　秋田市外旭川字梶の目346-1

●東京都内

受付　月〜土　9:30〜18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

拠点	FAX	住所
世田谷サービスステーション	FAX　03-3419-4234	〒155-0032　世田谷区代沢4-25-9
北東京サービスステーション	FAX　03-3944-7800	〒170-0002　豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX　042-524-5947	〒190-0003　立川市栄町4-18-1　エクセル立川1 F

●関東・甲信越地区

受付　月〜金　9:30〜18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30〜12:00、13:00〜18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	住所
新潟サービス認定店	FAX　025-241-1879	〒950-0913　新潟市鐙1-5-23
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX　0259-63-3400	〒952-1209　佐渡市金井町千種1158-1
☆千葉サービスセンター	FAX　043-207-2555	〒263-0014　千葉市稲毛区作草部町1369-1　椎の実ハイツ1F
松戸サービス認定店	FAX　047-340-5052	〒270-0021　松戸市小金原4-9-23
水戸サービス認定店	FAX　029-248-1306	〒310-0844　水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX　0298-58-1369	〒305-0045　つくば市梅園2-2-6
☆埼玉サービスセンター	FAX　048-651-8030	〒331-0812　さいたま市北区宮原町1-310-1
川越サービス認定店	FAX　049-233-6581	〒350-0804　川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX　028-657-5882	〒321-0912　宇都宮市石井町3373-1
群馬サービス認定店	FAX　0270-22-1859	〒372-0801　伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
☆神奈川サービスセンター	FAX　045-943-3788	〒224-0037　横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX　045-943-3155	〒224-0036　横浜市都筑区勝田南1-19-17
神奈川西サービス認定店	FAX　046-231-1209	〒243-0422　海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX　04994-6-1246	〒100-1211　三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX　0263-48-0575	〒390-0852　松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX　026-229-5250	〒380-0935　長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX　055-228-8003	〒400-0035　甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月〜金　9:30〜18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30〜12:00、13:00〜18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	住所
☆名古屋サービスセンター	FAX　052-532-1148	〒451-0063　名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX　0564-33-7080	〒444-0931　岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX　059-213-6712	〒514-0821　津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX　058-274-5256	〒500-8356　岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービス認定店	FAX　054-237-5691	〒422-8034　静岡市駿河区高松1-6-5
沼津サービス認定店	FAX　055-967-8455	〒410-0876　沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX　053-422-1401	〒435-0042　浜松市篠ヶ瀬町415　ビラモデルナ5号
金沢サービス認定店	FAX　076-240-0550	〒920-0362　金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX　076-425-3027	〒939-8211　富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX　0776-27-1768	〒910-0001　福井市大願寺3-5-9

●関西地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	所在地
☆大阪サービスセンター	FAX　06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
大阪北サービス認定店	FAX　06-6453-5666	〒531-0076	大阪市北区大淀中3-9-4
大阪南サービス認定店	FAX　0722-75-2625	〒593-8322	堺市西区津久野町1-8-15　ローズマンション1F
神戸サービス認定店	FAX　078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX　0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土4-2
和歌山サービス認定店	FAX　0734-46-3026	〒641-0021	和歌山市和歌浦東3-1-25
京都サービス認定店	FAX　075-352-2588	〒600-8322	京都市下京区西洞院通五条東南角小柳町513-2　五条久保田ビル1F
奈良サービス認定店	FAX　0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
福知山サービス認定店	FAX　0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国・四国地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	所在地
☆広島サービスセンター	FAX　082-248-9939	〒730-0041	広島市中区小町2-30　第二有楽ビル1F
岡山サービス認定店	FAX　086-244-8748	〒700-0975	岡山市今8-15-21
松江サービス認定店	FAX　0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX　0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX　0857-29-1290	〒680-0061	鳥取市立川町5-240-1
徳山サービス認定店	FAX　0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービスステーション	FAX　087-861-4841	〒760-0078	高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX　088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX　088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1F
松山サービス認定店	FAX　089-951-6270	〒791-8067	松山市古三津5-10-35　商船ビル1F

●九州地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	所在地
☆福岡サービスセンター	FAX　092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX　093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX　092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
長崎サービス認定店	FAX　095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX　096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX　097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
鹿児島サービスステーション	FAX　099-224-7692	〒892-0841	鹿児島市照国町3-21　第二大見ビル2F
宮崎サービス認定店	FAX　0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1

●沖縄県

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

拠点	TEL/FAX	〒	所在地
沖縄サービスステーション	TEL　098-879-1910 FAX　098-879-1352	〒901-2122	浦添市勢理客4-18-1　トヨタマイカーセンター3F

平成19年2月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

愛情点検

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？

- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**

⇩

故障や事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、『保証とアフターサービス』（P.68）をお読みのうえ、修理受付センター（裏表紙）に点検をご依頼ください。

K026_Ja

弊社ホームページにも本機の取り扱いについての Q&A を掲載していますので、あわせてご覧ください。

http://pioneer.jp/support/product/dvdld.html

＜各窓口へのお問い合わせの時のご注意＞
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品　■0070−800−8181−22　■一般電話　03−5496−2986

■ファックス　03−3490−5718

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～19:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81028（ゴーパイオニア）　■一般電話　03−5496−2023

■ファックス　0120−5−81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−879−1910

■ファックス　098−879−1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81095　■一般電話　0538−43−1161

■ファックス　0120−5−81096

平成19年2月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.022

J2K40301A SH 07/04 Ⓚ

パイオニア株式会社　〒153-8654　東京都目黒区目黒1丁目4番1号